

2021年度中間決算説明資料

2021年11月19日
SOMPOホールディングス株式会社



業績ハイライト（2021年度中間期）	2	3. 海外保険事業	
1. 連結業績		業績概況（海外保険事業）	28
2021年度中間決算概況（連結）	4	（参考）地域別業績	29
決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）	5	（参考）SI※1業績概況①	30
決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）	6	（参考）SI業績概況②	31
決算のポイント③ 連結経常利益	7	4. 国内生保事業	
決算のポイント④ 連結純利益	8	業績概況（ひまわり生命）	33
2021年度通期業績予想（連結）	9	当期純利益（ひまわり生命）	34
2021年度通期業績予想修正のポイント	10	修正利益・修正純資産（ひまわり生命）	35
（参考）通期業績予想（連結経常利益）のブレイクダウン	11	5. 介護・シニア事業	
（参考）過去の業績進捗状況	12	業績概況（介護・シニア事業）	37
（参考）経営数値目標等	13	SOMPOケアの主要指標	38
2. 国内損保事業		6. ERM・資産運用	
2021年度中間決算概況（損保ジャパン）	15	財務健全性：ESR（99.5%VaR）	40
正味収入保険料	16	（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	41
正味損害率（アード・インカード）	17	資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）	42
（参考）正味損害率（リトン・ペイド）	18	資産ポートフォリオ（損保ジャパン）	43
正味事業費率	19	資産ポートフォリオ（SI）	44
コンバインド・レシオ	20	資産ポートフォリオ（ひまわり生命）	45
資産運用損益	21		
（参考）資産運用粗利益の内訳	22		
（参考）2021年度通期業績予想（損保ジャパン）	23		
（参考）自動車保険関連の指標	24		
（参考）国内自然災害	25		
（参考）責任準備金・支払備金	26		

為替レート（米ドル/円）		
2021年度 中間期	111.92円（対前年：+5.8%）	2021年9月末
	- 海外※2 110.58円（対前年：+2.6%）	2021年6月末
2021年度 通期業績予想	今回予想 111.92円（期初予想比：+1.1%）	2021年9月末
	（参考）期初予想 110.71円	2021年3月末

※1 SIはSompoインターナショナルの企業部門を指す（以下同様）
 ※2 海外保険事業

業績ハイライト（2021年度中間期）

- 中間期の連結経常利益は+1,130億円増益の1,905億円、連結純利益は+911億円増益の1,307億円
- 各事業の直近の業績進捗に加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正、連結経常利益は2,670億円、連結純利益は1,780億円と、いずれも過去最高益を見込む
- 株主還元原資となる修正連結利益は2,100億円に上方修正、追加還元として200億円の自己株式取得を決定

中間期実績

- 損保ジャパンは、国内自然災害が減少したことを主因に、保険引受利益は+119億円増益
※自動車保険のE/I損害率は対前年+1.4pt上昇（2019年度中間期対比では△6.6pt低下）、事故受付件数は対前年+3.3%増加（2019年度中間期対比では△16.6%減少）
資産運用粗利益は+138億円増益、ファンドからの分配金増加が主因
- 海外保険事業の修正利益は+277億円増益、
前年度の新型コロナ影響剥落に加え、SIのトップライン増収効果や運用収益改善などがプラス寄与
- 国内生保事業は、Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は順調に拡大
- 介護・シニア事業は、入居率の改善傾向が継続
- HDで保有している有価証券を一部売却

通期業績予想の修正

- 堅調な利配収入などに加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正
連結経常利益は2,670億円（期初予想比+820億円）、連結純利益は1,780億円（同+530億円）を見込む
- 株主還元原資となる修正連結利益は、期初予想比+50億円増の2,100億円を見込む
- 直近の資本余力が中期経営計画で想定している水準を安定的に上回る見込みであることから、追加還元として、200億円の自己株式取得を決定

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

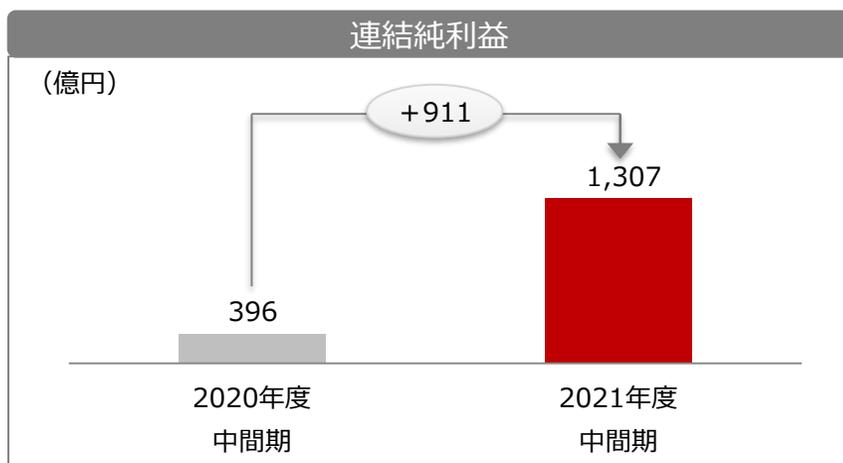
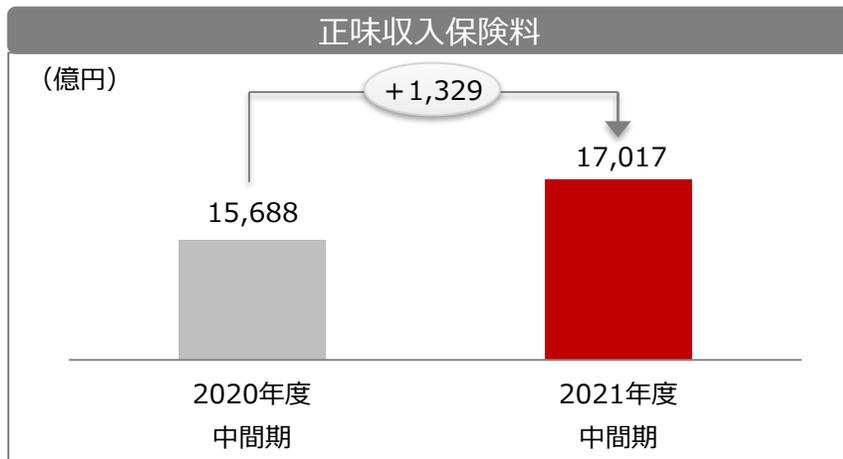
4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

2021年度中間決算概況（連結）

- SIに加え、損保ジャパンでの火災保険や新種保険を中心とした増収などにより、正味収入保険料は+1,329億円の増収
- SIおよび損保ジャパンの増益に加え、HDで保有している有価証券の一部売却影響もあり、連結経常利益・連結純利益ともに大幅増益



(単位：億円)	2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減	2021年度 今回予想
連結経常収益	19,853	21,797	+1,944 (+9.8%)	-
正味収入保険料	15,688	17,017	+1,329 (+8.5%)	31,810
生命保険料	1,688	1,579	△109 (△6.5%)	3,310
連結経常利益	775	1,905	+1,130	2,670
損保ジャパン	644	878	+234	1,810
海外グループ会社	173	370	+196	594
ひまわり生命	170	145	△25	172
SOMPOケア	54	39	△14	88
その他・連結調整等※1	△267	471	+739	4
連結純利益※2	396	1,307	+911	1,780
損保ジャパン	459	641	+181	1,370
海外グループ会社	64	263	+198	394
ひまわり生命	119	100	△18	116
SOMPOケア	23	25	+2	53
その他・連結調整等	△270	276	+547	△153
(参考) 修正連結利益	950	1,487	+537	2,100
国内損保事業	675	916	+240	1,125
海外保険事業	74	351	+277	565
国内生保事業	180	185	+4	325
介護・シニア事業	18	25	+6	65
デジタル事業等	-	8	+8	10

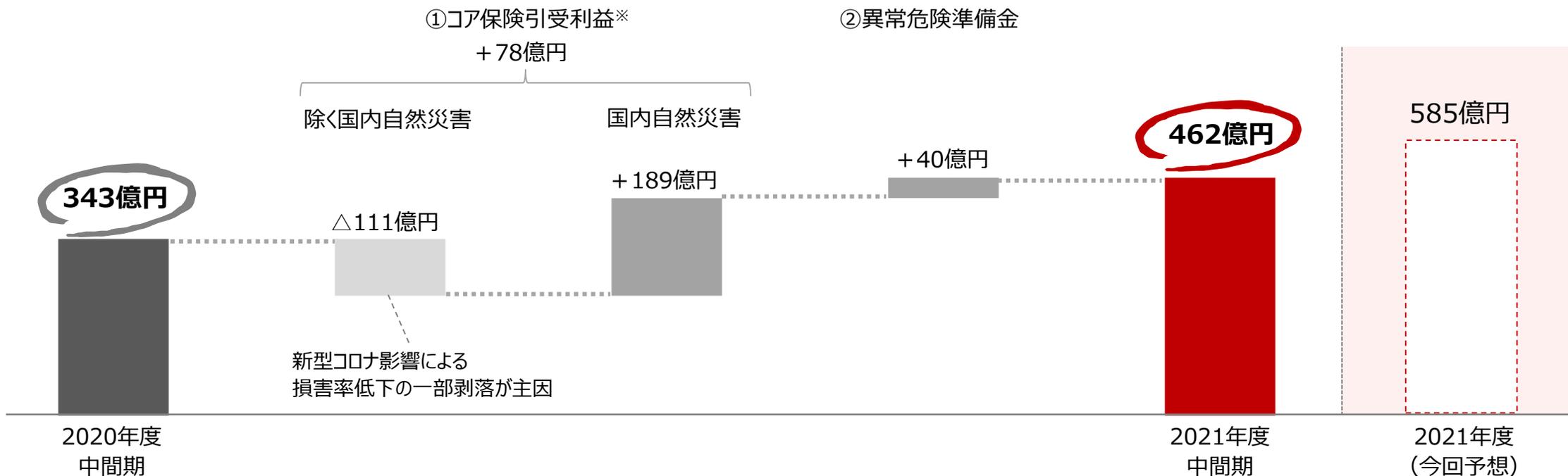
※1 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

※2 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）

決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）

- 保険引受利益は、国内自然災害が減少したことを主因に、+119億円増益の462億円

保険引受利益（損保ジャパン）の増減要因



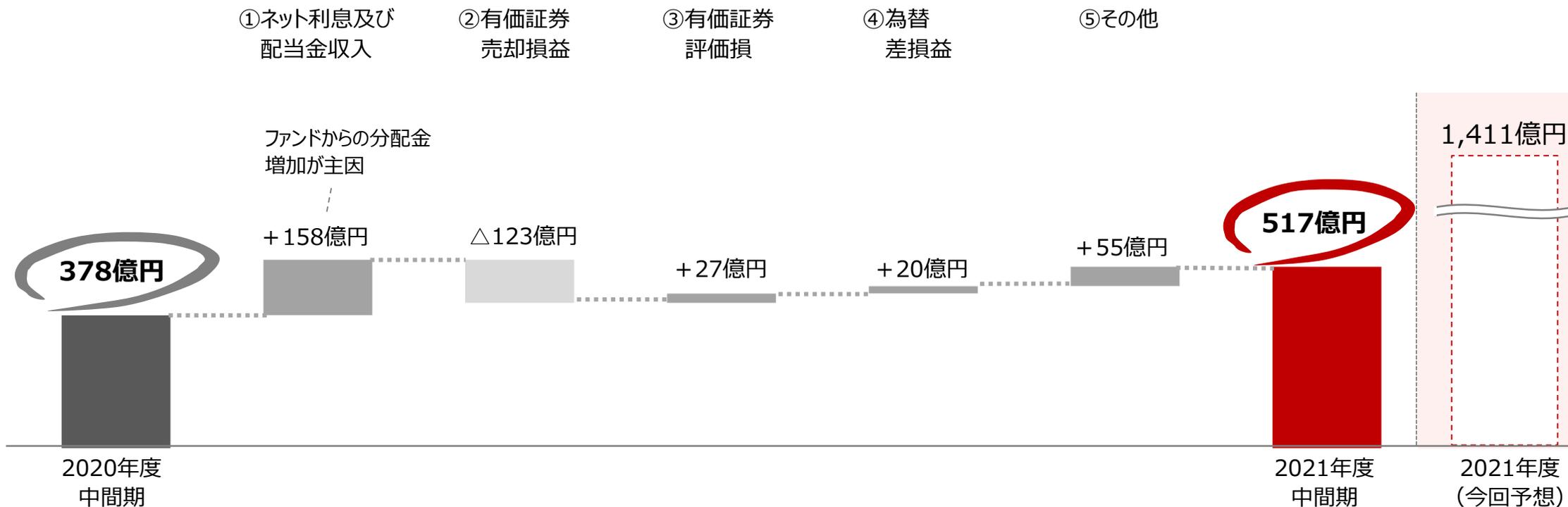
	730億円	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2020年度中間期	730億円	1,186億円	△455億円	△386億円	343億円
2021年度中間期	809億円	1,074億円	△265億円	△346億円	462億円

※ コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）

- 資産運用粗利益はネット利配増加を主因に、+138億円増益の517億円

資産運用粗利益（損保ジャパン）の増減要因

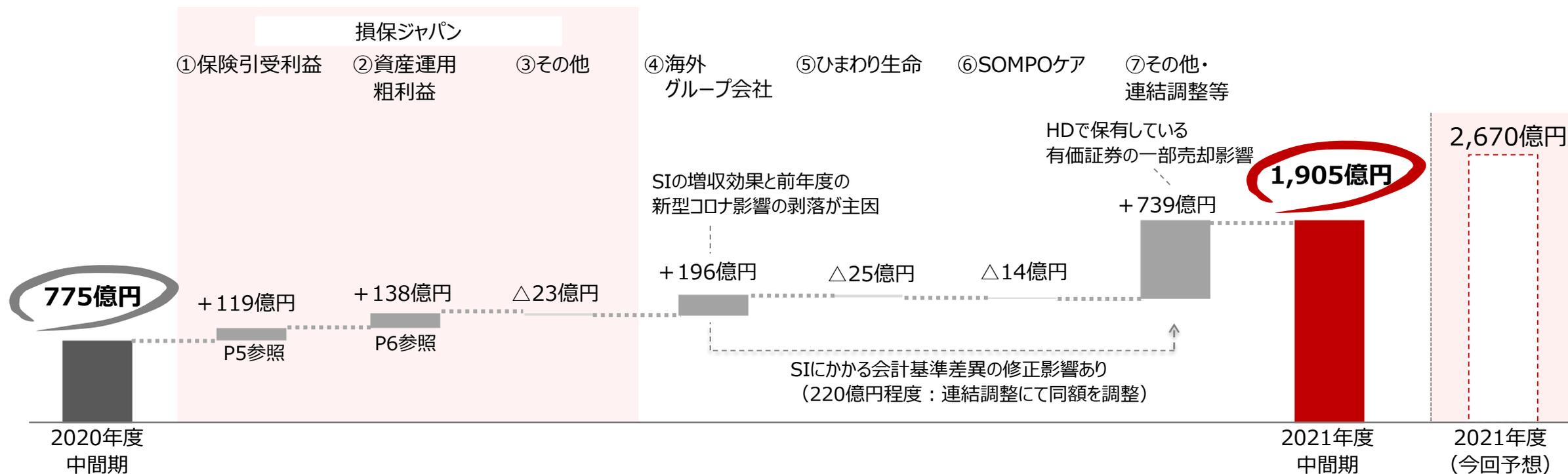


	①ネット利息及び配当金収入	②有価証券売却損益	③有価証券評価損	④為替差損益	⑤その他	資産運用粗利益
2020年度中間期	315億円	162億円	△48億円	△10億円	△39億円	378億円
2021年度中間期	473億円	39億円	△21億円	10億円	16億円	517億円

決算のポイント③ 連結経常利益

- 損保ジャパンの増益に加え、SIの増益やHDで保有している有価証券の一部売却影響もあり、連結経常利益は+1,130億円の大幅増益

連結経常利益の増減要因



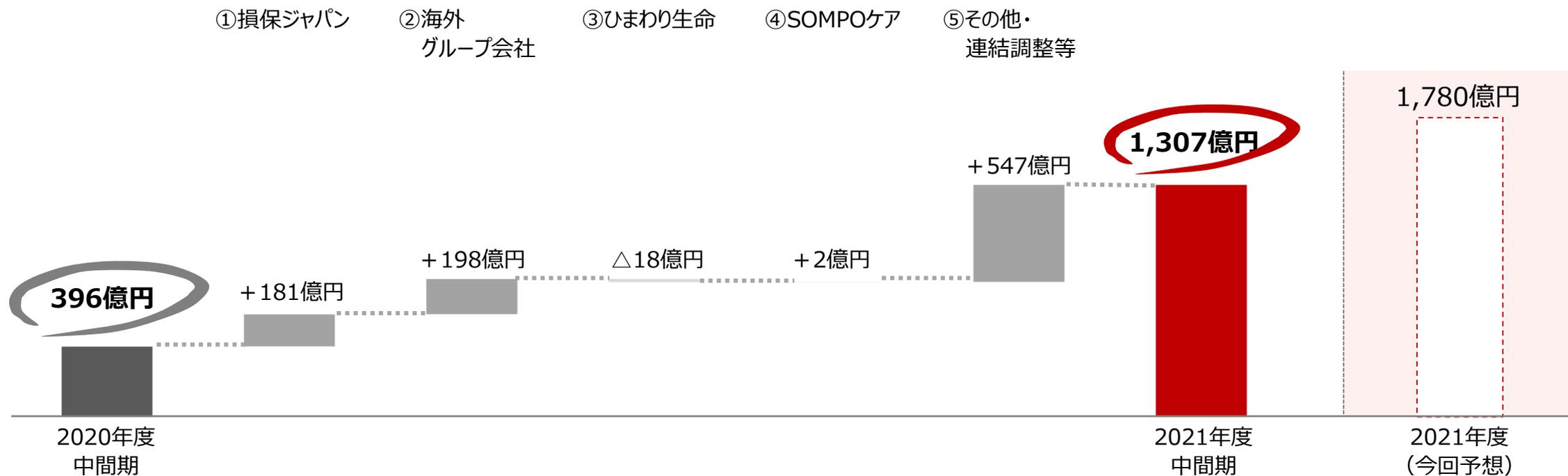
	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥SOMPOケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2020年度中間期	343億円	378億円	△78億円	173億円	170億円	54億円	△267億円	775億円
2021年度中間期	462億円	517億円	△101億円	370億円	145億円	39億円	471億円*	1,905億円

※ 2021年度中間期のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額（税前）は120億円

決算のポイント④ 連結純利益

- 連結純利益は1,307億円（通期業績予想 [今回予想] に対する進捗率：73%）

連結純利益の増減要因



項目	①損保ジャパン	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④SOMPOケア	⑤その他・連結調整等	連結純利益
2020年度中間期	459億円	64億円	119億円	23億円	△270億円	396億円
2021年度中間期	641億円	263億円	100億円	25億円	276億円	1,307億円

2021年度通期業績予想（連結）

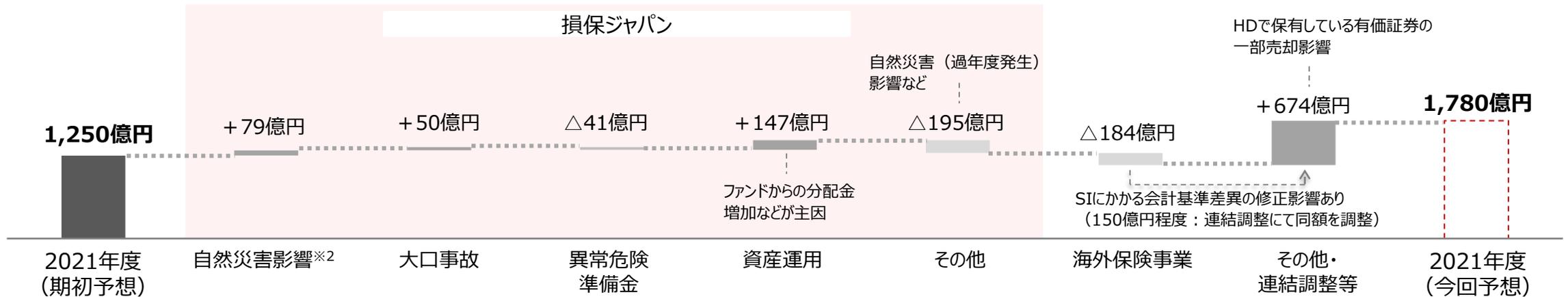
- 業績進捗に加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正、連結純利益は1,780億円を見込む

(単位：億円)	2020年度 実績 (A)	2021年度			対前年増減 (C-A)
		期初予想 (B)	今回予想 (C)	増減 (C-B)	
正味収入保険料	29,235	30,900	31,810	+910	+2,574
生命保険料	3,461	3,580	3,310	△270	△151
連結経常利益	2,150	1,850	2,670	+820	+519
損保ジャパン	1,974	1,745	1,810	+65	△164
海外グループ会社	522	723	594	△128	+71
ひまわり生命	289	172	172	△0	△116
SOMPOケア	87	86	88	+2	+1
その他・連結調整等	△723	△877	4	+881	+727
連結純利益	1,424	1,250	1,780	+530	+355
損保ジャパン	1,469	1,330	1,370	+40	△99
海外グループ会社	358	579	394	△184	+36
ひまわり生命	200	116	116	-	△84
SOMPOケア	53	51	53	+1	△0
その他・連結調整等	△656	△826	△153	+672	+502
(参考) 修正連結利益	2,021	2,050	2,100	+50	+78
国内損保事業	1,301	1,050	1,125	+75	△176
海外保険事業	300	600	565	△35	+264
国内生保事業	338	325	325	-	△13
介護・シニア事業	81	65	65	-	△16
デジタル事業等	-	10	10	-	+10

2021年度通期業績予想修正のポイント

- 堅調な利配収入などに加えて、HDで保有している有価証券の一部売却影響を踏まえ、通期業績予想を上方修正
- 株主還元原資となる修正連結利益は、期初予想比+50億円増の2,100億円を見込む

修正の要因（税引後数値※1）：連結純利益

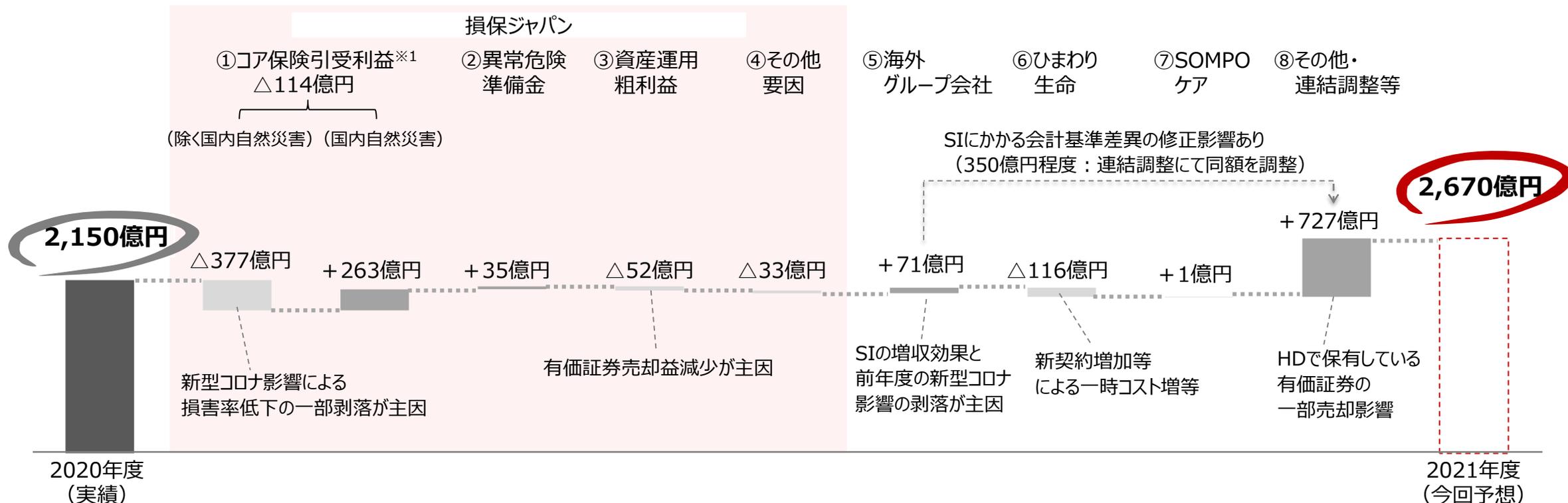


修正の要因（税引後数値※1）：修正連結利益



(参考) 通期業績予想 (連結経常利益) のブレイクダウン

連結経常利益の主要構成要素



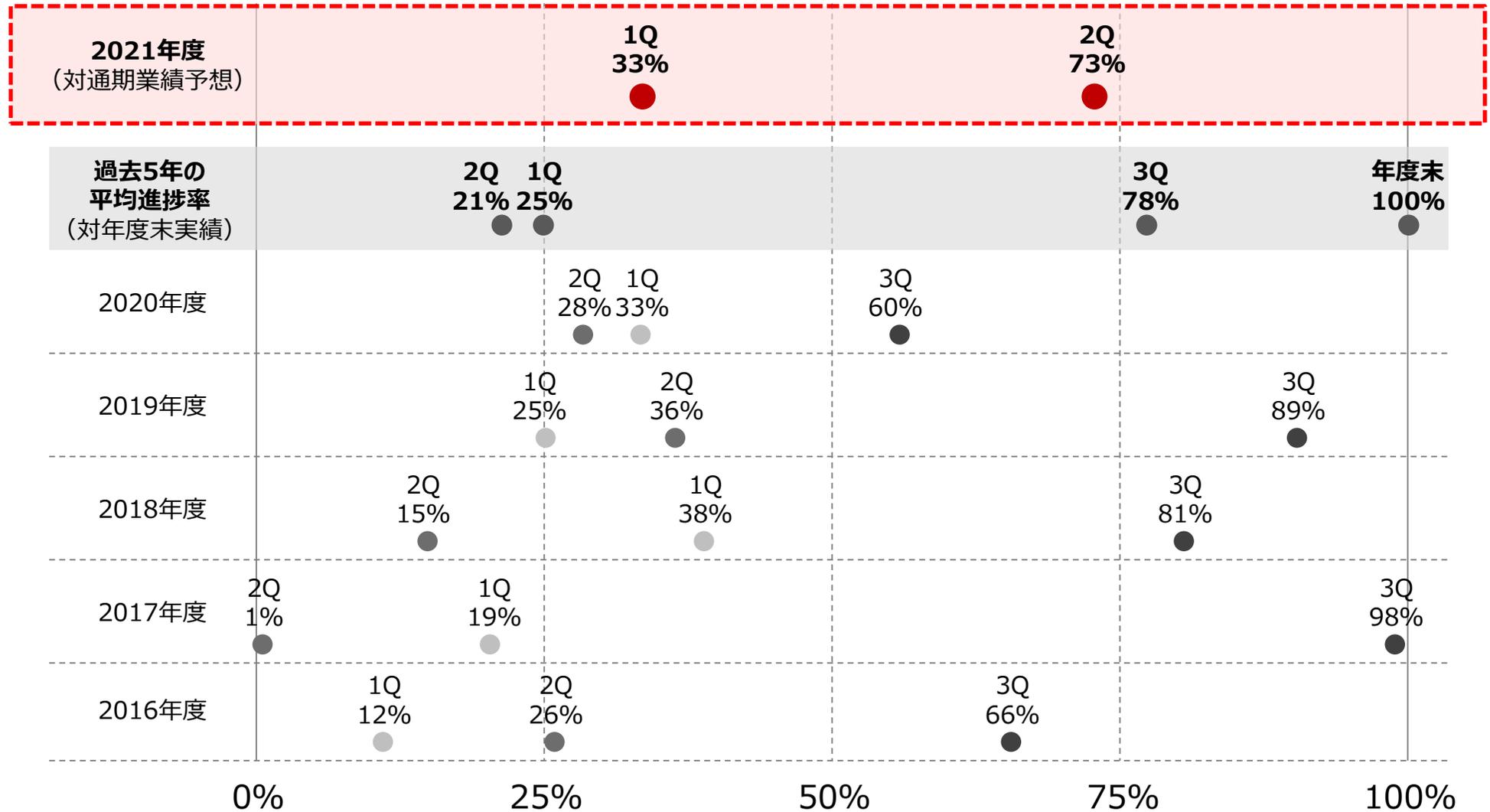
	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦SOMPO ケア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2020年度実績	2,017億円	△993億円	△361億円	1,464億円	△153億円	522億円	289億円	87億円	△723億円	2,150億円
2021年度今回予想	1,640億円	△730億円	△325億円	1,411億円	△186億円	594億円	172億円	88億円	4億円※2	2,670億円
(参考) 2021年度期初予想	1,822億円	△840億円	△267億円	1,207億円	△177億円	723億円	172億円	86億円	△877億円※2	1,850億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2021年度今回予想における正味償却対象額は243億円の見込み

(参考) 過去の業績進捗状況

四半期の進捗率 (連結純利益)



(参考) 経営数値目標等

計画数値

(単位：億円)	2021年度中間期		2021年度通期		2023年度	
	(実績)	(対前年増減)	(今回予想)	(事業別ROE) ※5	(計画) ※6	(事業別ROE)
国内損保事業	916	+240	1,125	8.4%	1,500以上	11.4%
海外保険事業	351	+277	565	6.6%	1,000以上	11.6%
国内生保事業	185	+4	325	4.3%	400以上	5.7%
介護・シニア事業※3	25	+6	65	11.5%	80以上	14.3%
デジタル事業等	8	+8	10	-	20以上	-
合計(修正連結利益)	1,487	+537	2,100	-	3,000以上	-
修正連結ROE※4	-	-	7.4%	-	10%以上	-
ROE (J-GAAPベース)	-	-	8.6%	-	-	-

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く。

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など)

※3 2020年度は介護・ヘルスケア事業等。修正利益 = 当期純利益 (一過性の損益を除く)

※4 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※5 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

※6 2023年度の修正連結利益 (計画) は、オーガニック成長を前提とした計画値。想定以上の自然災害影響などによる下振れリスク (△300億円) に対し、M&A実行によって利益上乘せ (+300億円) を図ることで、計画の達成確度を高める

修正連結利益※1の定義

国内損保事業

当期純利益

- + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)
- + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
- 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

海外保険事業

Operating Income※2

なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益

国内生保事業

当期純利益

- + 危険準備金繰入額 (税引後)
- + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
- + 責任準備金補正 (税引後)
- + 新契約費繰延 (税引後)
- 新契約費償却 (税引後)
- 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

介護・シニア事業

ヘルスケア事業等

当期純利益

デジタル事業

当期純利益

- 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

2021年度中間決算概況（損保ジャパン）

- 国内自然災害の減少やファンドからの分配金増加を主因に、当期純利益は+181億円増益の641億円

(単位：億円)	2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減	2021年度 (今回予想)
正味収入保険料	10,937	11,057	+119 (+1.1%)	21,730
（除く自賠責・家計地震）	9,704	9,912	+208 (+2.2%)	19,514
既経過保険料（除く自賠責・家計地震）	9,307	9,575	+268 (+2.9%)	19,340
E/I損害率（除く自賠責・家計地震）	57.7%	56.8%	△0.9pt	60.1%
正味損害率	56.7%	57.8%	+1.2pt	62.3%
（除く自賠責・家計地震）	54.7%	55.6%	+0.9pt	59.2%
正味事業費率	33.0%	33.5%	+0.5pt	34.3%
（除く自賠責・家計地震）	33.8%	34.0%	+0.1pt	34.9%
コンバインド・レシオ（E/I）※1（除く自賠責・家計地震）	91.5%	90.7%	△0.8pt	95.0%
（参考）コンバインド・レシオ（W/P）（除く自賠責・家計地震）	88.5%	89.6%	+1.1pt	94.0%
保険引受利益	343	462	+119	585
資産運用粗利益	378	517	+138	1,411
経常利益	644	878	+234	1,810
当期純利益	459	641	+181	1,370
(参考) 異常危険準備金繰入額等（税引後）	+280	+251	△29	+237
価格変動準備金繰入額（税引後）	+14	+14	+0	+29
有価証券売却損益・評価損（税引後）	△70	△8	+62	△243
特殊要因（税引後）※2	△1	+31	+33	△248
修正利益	681	929	+248	1,145

(参考)
修正利益

※1 E/I損害率 + 正味事業費率（以下同様）

※2 株式先物関連損益等

正味収入保険料

- 火災保険、新種保険が好調に推移し、トップライン増収を牽引

正味収入保険料

(単位：億円)	2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減		2021年度 (今回予想)
火災	1,516	1,587	+70	(+4.7%)	3,266
海上	208	255	+46	(+22.5%)	460
傷害	826	831	+5	(+0.6%)	1,553
自動車	5,412	5,427	+15	(+0.3%)	10,942
自賠責	1,232	1,142	△89	(△7.2%)	2,212
その他	1,743	1,812	+69	(+4.0%)	3,294
うち賠償責任	942	946	+4	(+0.5%)	1,591
合計	10,937	11,057	+119	(+1.1%)	21,730
合計（除く自賠責・家計地震）	9,704	9,912	+208	(+2.2%)	19,514

(主な増減要因)

火災：商品改定による料率適正化、企業分野の増収などにより堅調に推移

自動車：料率適正化等の効果が発現

その他：主力商品の「ビジネスマスター・プラス」は引き続き好調

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
前年同期比（2021年4月～9月）

(営業成績保険料ベース)

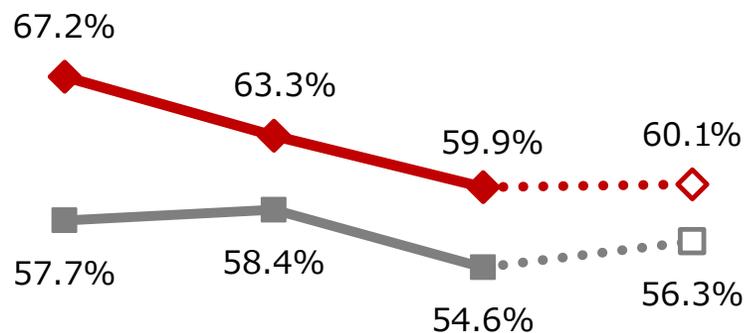
	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△1.0%	+0.8%	△0.2%
フリート	△0.3%	△0.2%	△0.5%
合計	△0.9%	+0.6%	△0.3%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ！を除く

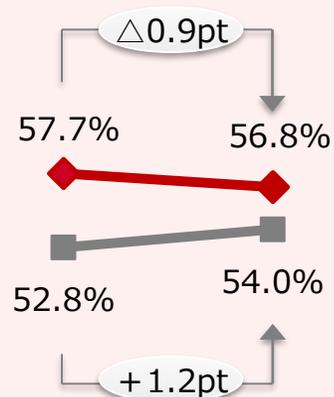
正味損害率（アード・インカード）

- 新型コロナ影響の一部剥落により事故率が増加するも、国内自然災害が減少したことで、E/I損害率は対前年△0.9pt低下

E/I損害率



中間期の推移



(参考) 種目別E/I損害率

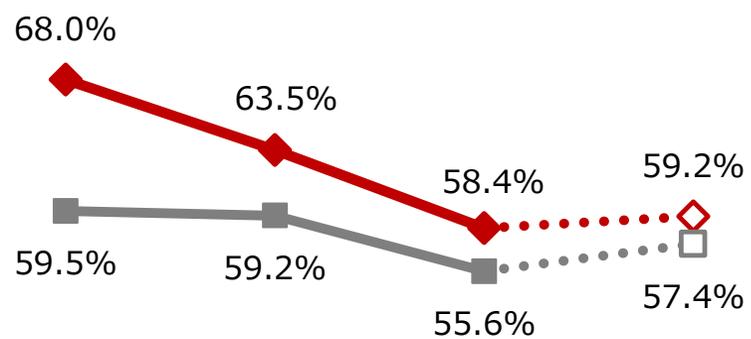
	2021年度 中間期		2021年度 (今回予想)
	損害率	増減	損害率
火災 (除く家計地震)	70.7%	△15.0pt	72.3%
海上	59.2%	+7.5pt	72.3%
傷害	50.2%	+6.8pt	52.3%
自動車	54.2%	+1.4pt	56.7%
その他	54.8%	△2.6pt	61.2%
合計 (除く自賠責・家計地震)	56.8%	△0.9pt	60.1%

2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 (今回予想) 2020年度 中間期 2021年度 中間期

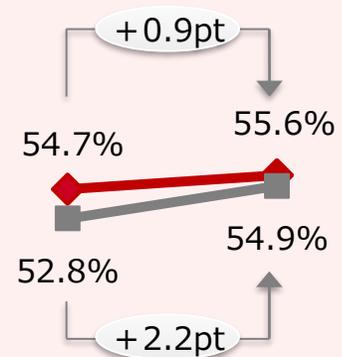
 損害率 (除く自賠責・家計地震)
 (参考) 損害率 (除く自賠責・家計地震・国内自然災害)

(参考) 正味損害率 (リトン・ペイド)

正味損害率



中間期の推移



(参考) 種目別W/P損害率

	2021年度 中間期		2021年度 (今回予想) 損害率
	損害率	増減	
火災 (除く家計地震)	73.3%	+4.8pt	69.6%
海上	47.7%	△13.7pt	64.9%
傷害	45.4%	△1.3pt	50.0%
自動車	54.6%	+1.4pt	57.4%
その他	48.8%	△1.3pt	58.1%
合計 (除く自賠償・家計地震)	55.6%	+0.9pt	59.2%

2018年度

2019年度

2020年度

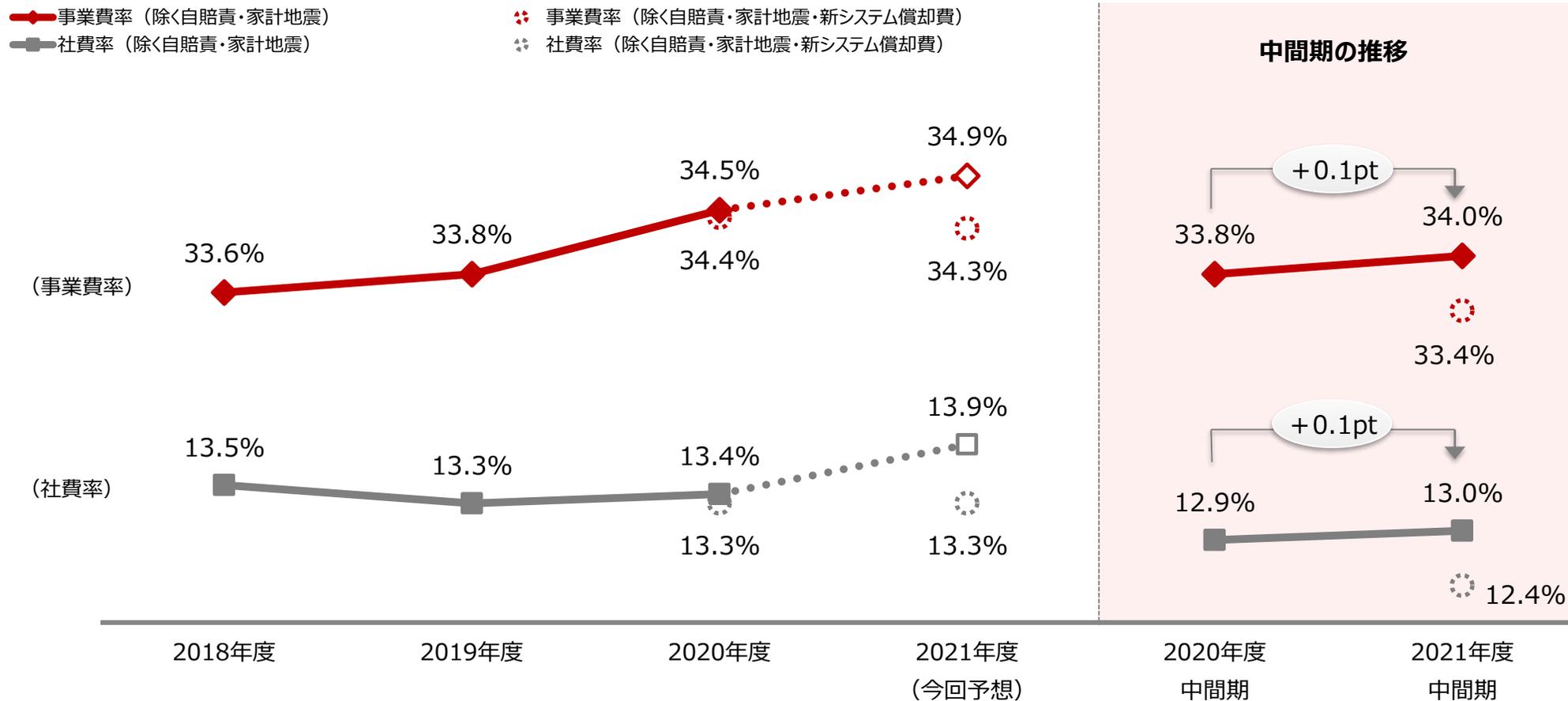
2021年度
(今回予想)2020年度
中間期2021年度
中間期
 損害率 (除く自賠償・家計地震)

 (参考) 損害率 (除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

正味事業費率

- 事業費率、社費率ともに計画対比で良好に推移

事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移

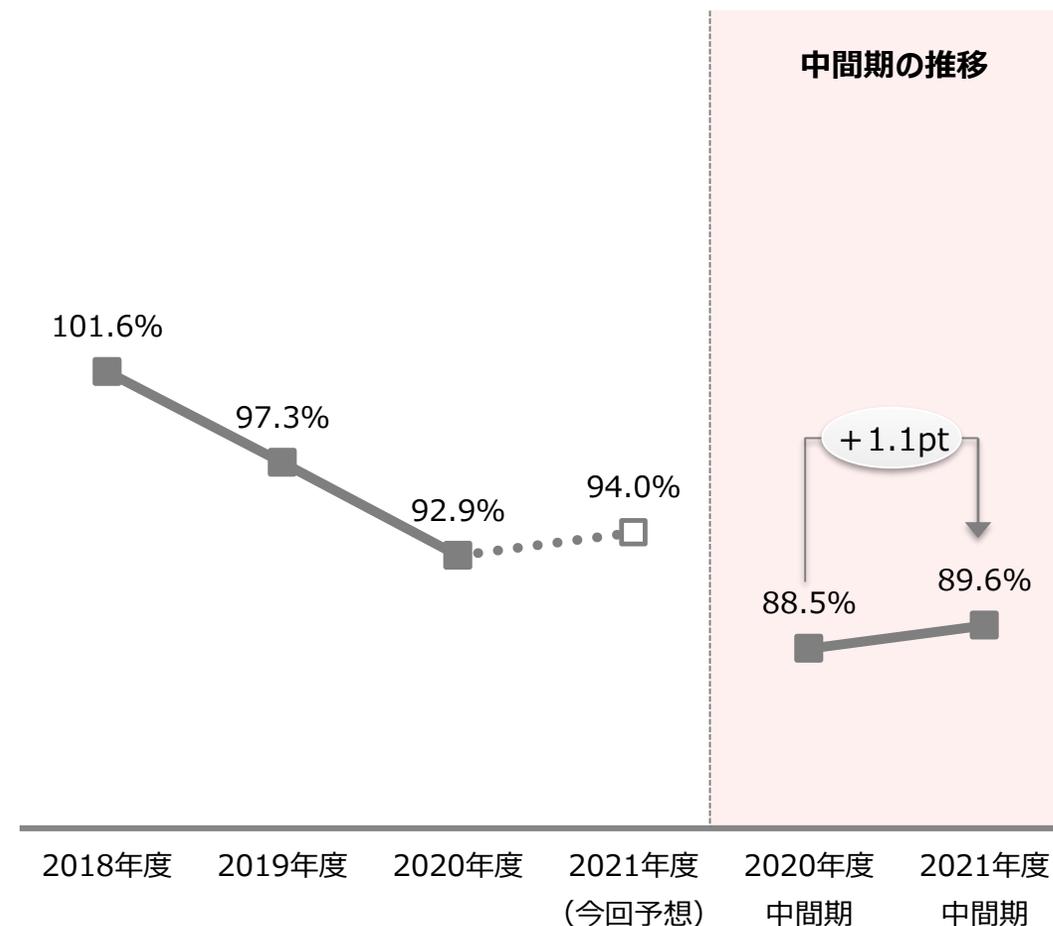
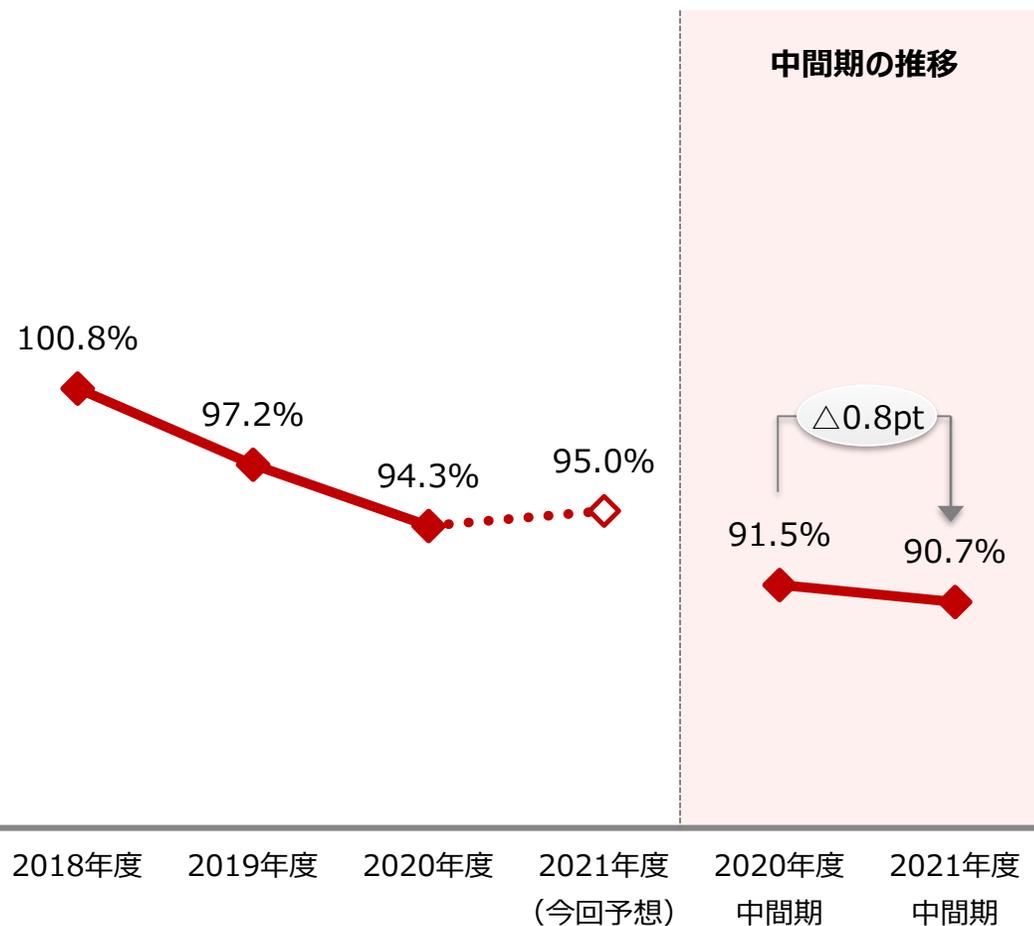


コンバインド・レシオ

- 損害率の低下により、コンバインド・レシオは、対前年 $\Delta 0.8$ pt低下し90.7%

コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)

(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)



資産運用損益

- ・ ファンドからの分配金増加を主因に、ネット利配は順調に推移

資産運用粗利益（損保ジャパン）

(単位：億円)		2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減	2021年度 (今回予想)
ネット利息及び配当金収入	①	315	473	+158	1,048
利息及び配当金収入※1		484	625	+141	1,359
（うち海外子会社配当金）		12	0	△12	263
有価証券売却損益※1	②	162	39	△123	377
（うち国内株式）		156	30	△125	380
有価証券評価損	③	△48	△21	+27	△40
（うち国内株式）		△41	△21	+20	△40
金融派生商品損益	④	△15	△0	+15	△13
その他損益	⑤	△34	26	+60	39
資産運用粗利益（①～⑤計）		378	517	+138	1,411

（参考）政策株式削減額

現物※2	59億円
先物※3	139億円
合計	199億円

※2 時価ベースのネット削減額
(売却時価－購入時価)

2021年度削減目標額は500億円

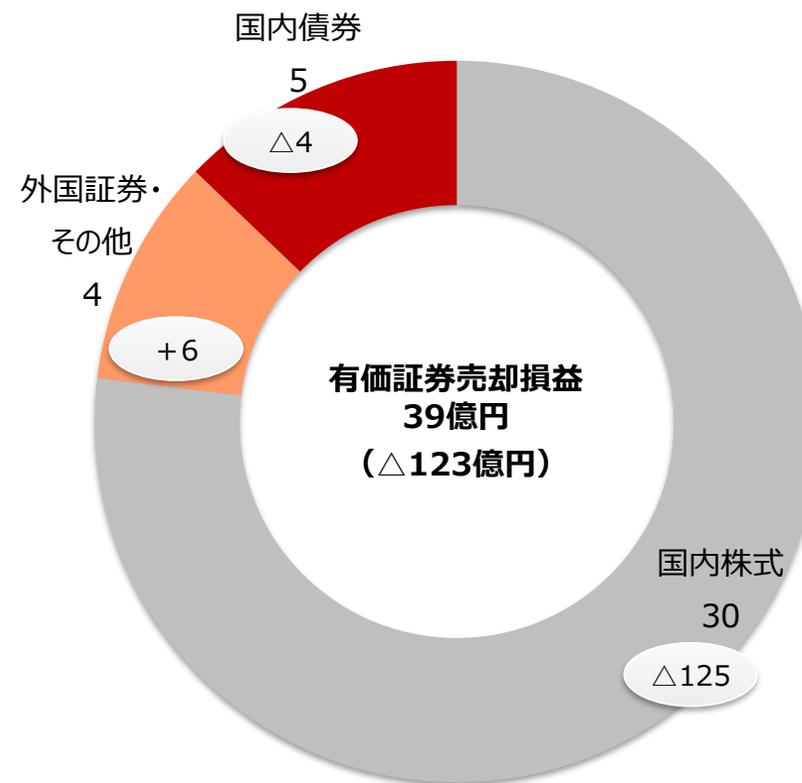
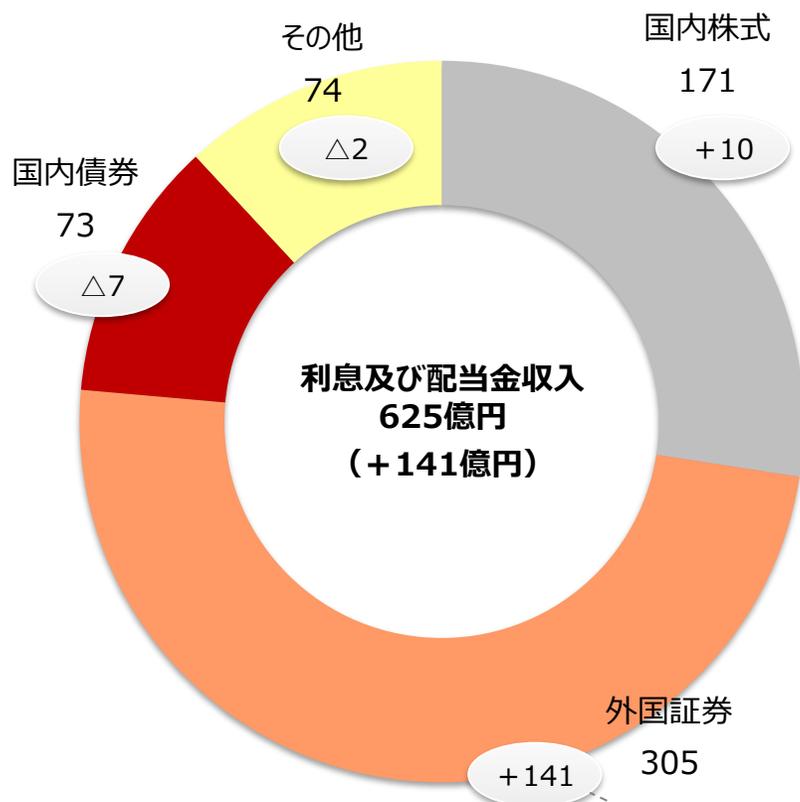
※3 日経平均先物の売建て

※1 内訳は次ページ参照

(参考) 資産運用粗利益の内訳

利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳 (2021年度中間期)

(億円)



ファンドからの分配金増加が主因

○ : 2020年度中間期対比の増減額

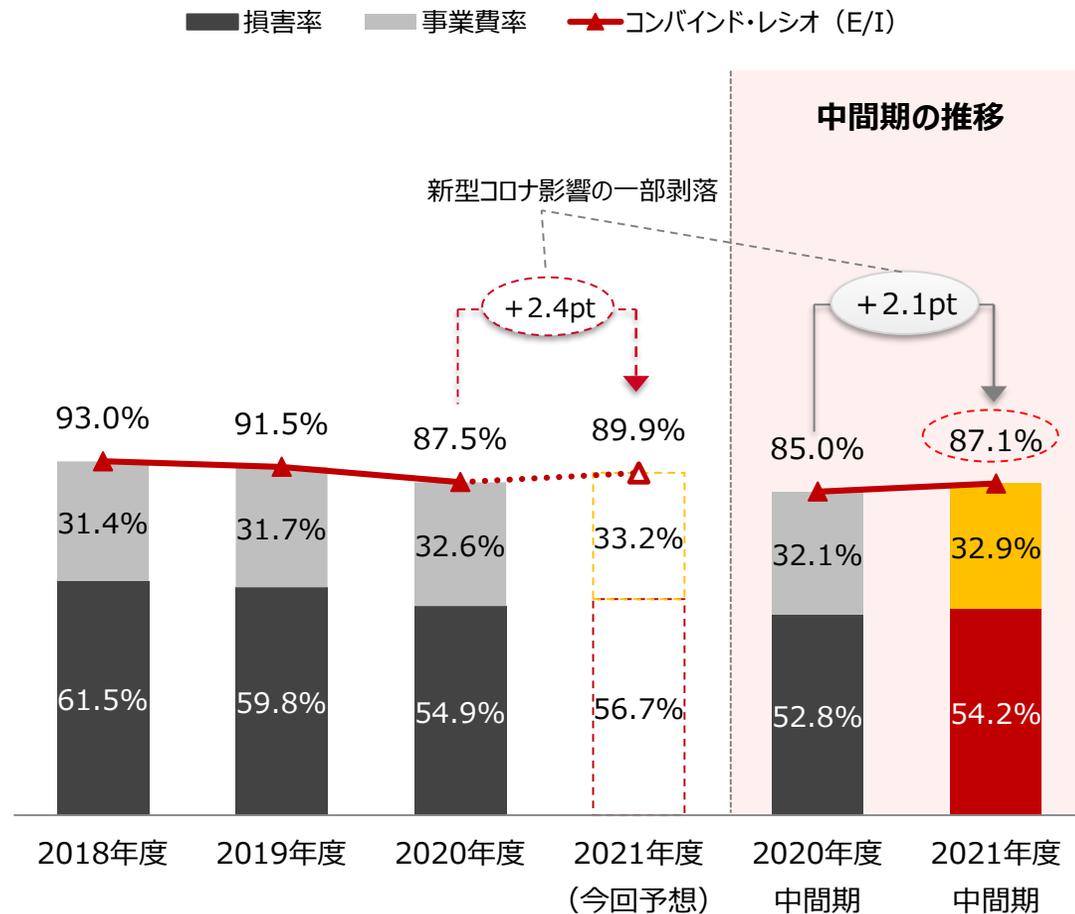
(参考) 2021年度通期業績予想 (損保ジャパン)

(単位：億円)	2020年度 実績 (A)	2021年度			対前年増減 (C-A)
		期初予想 (B)	今回予想 (C)	増減 (C-B)	
正味収入保険料	21,414	21,600	21,730	+130 (+0.6%)	+315 (+1.5%)
(除く自賠責・家計地震)	19,034	19,293	19,514	+220 (+1.1%)	+479 (+2.5%)
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	18,857	19,262	19,340	+77 (+0.4%)	+483 (+2.6%)
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	59.9%	59.8%	60.1%	+0.3pt	+0.2pt
正味損害率	60.8%	64.6%	62.3%	△2.3pt	+1.5pt
(除く自賠責・家計地震)	58.4%	61.0%	59.2%	△1.8pt	+0.8pt
正味事業費率	33.6%	34.3%	34.3%	+0.0pt	+0.7pt
(除く自賠責・家計地震)	34.5%	35.0%	34.9%	△0.2pt	+0.4pt
コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)	94.3%	94.8%	95.0%	+0.1pt	+0.6pt
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	92.9%	96.0%	94.0%	△2.0pt	+1.2pt
保険引受利益	663	715	585	△130 (△18.2%)	△78 (△11.9%)
資産運用粗利益	1,464	1,207	1,411	+204 (+16.9%)	△52 (△3.6%)
経常利益	1,974	1,745	1,810	+65 (+3.7%)	△164 (△8.3%)
当期純利益	1,469	1,330	1,370	+40 (+3.0%)	△99 (△6.8%)
(参考) 異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+262	+195	+237	+41	△25
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+28	+29	+29	-	+0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△435	△200	△243	△43	+192
特殊要因 (税引後) ※	△44	△281	△248	+33	△203
修正利益	1,281	1,073	1,145	+72	△136

※ グループ会社配当など

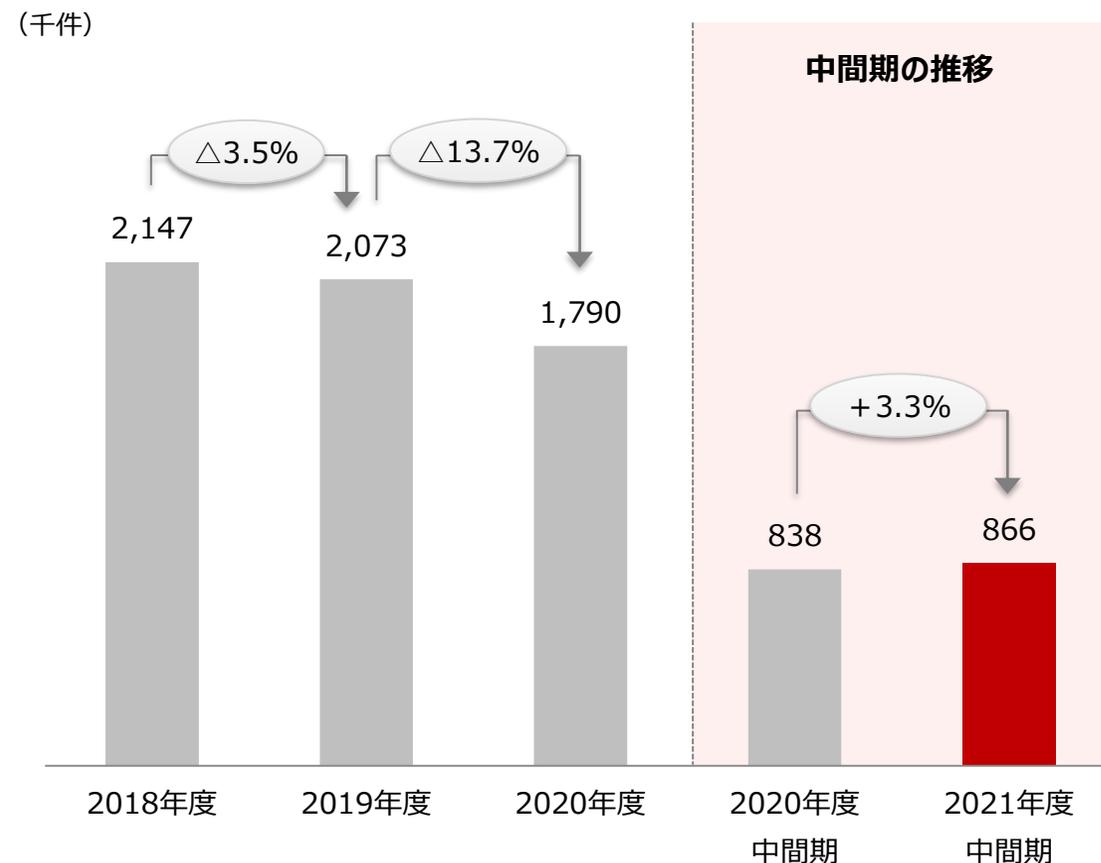
(参考) 自動車保険関連の指標

コンバインド・レシオ (E/I) の推移



※ 損害率はE/Iベース (含む損調費)

事故受付件数の推移

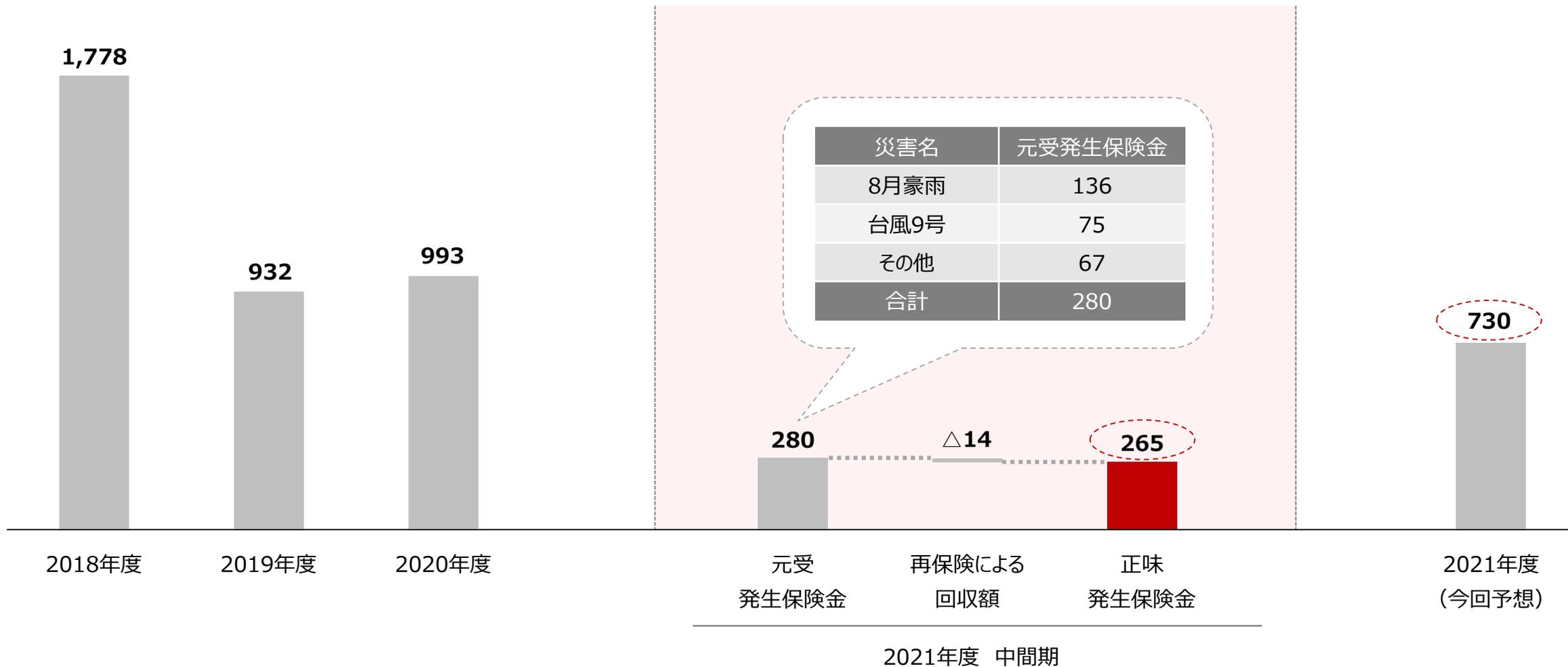


※ 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

(参考) 国内自然災害

国内自然災害の正味発生損害（当年度発生）※

（単位：億円）



※ 除く自賠責・家計地震

(参考) 責任準備金・支払備金**責任準備金・支払備金 (2021年度中間期)**

(単位：億円)

	普通責任準備金 ^{※1}		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災 ^{※2}	7,830	+78	1,128	+91	1,334	△89
海上	190	△9	448	+7	218	+3
傷害	1,355	+81	790	+26	447	△0
自動車	3,188	△15	887	+176	3,695	△16
自賠責 ^{※2}	4,620	+0	-	-	640	+14
その他	3,624	+163	2,032	+44	2,304	+4
合計	20,810	+298	5,286	+346	8,640	△83
合計 (除く自賠責・家計地震)	16,152	+297	5,286	+346	8,000	△76
	残高	積増額				積増額
長期性資産 ^{※3}	11,102	△282			外貨建支払備金の為替影響	△2

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

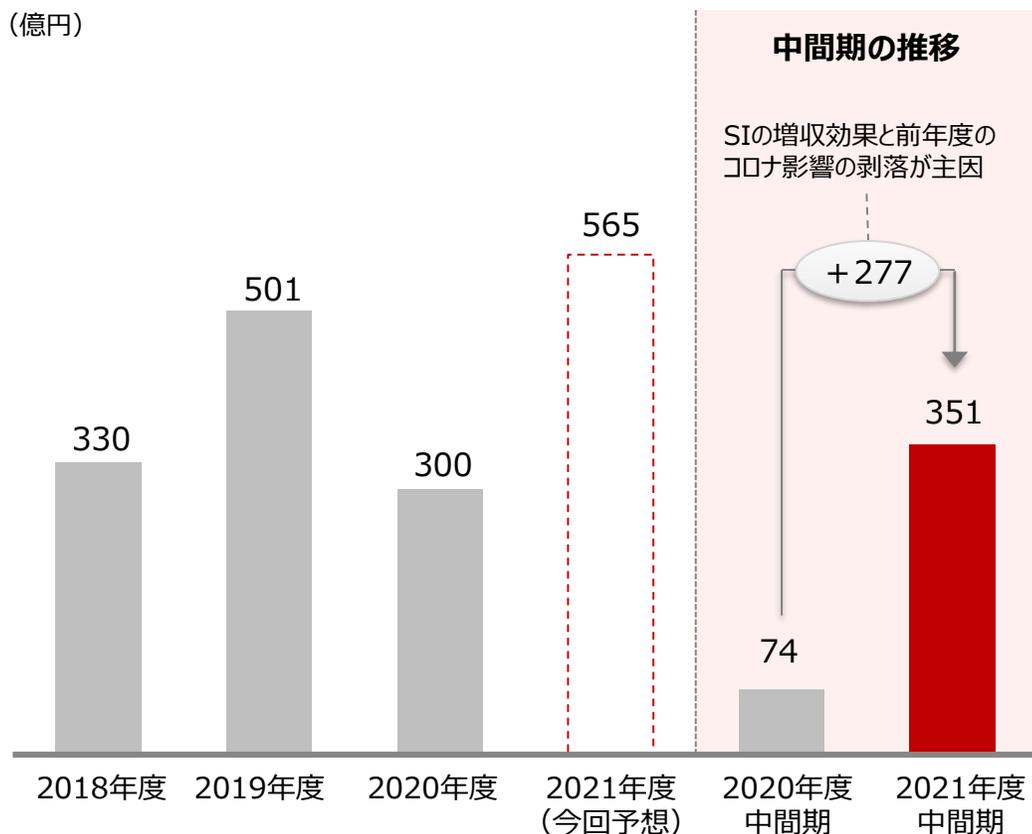
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

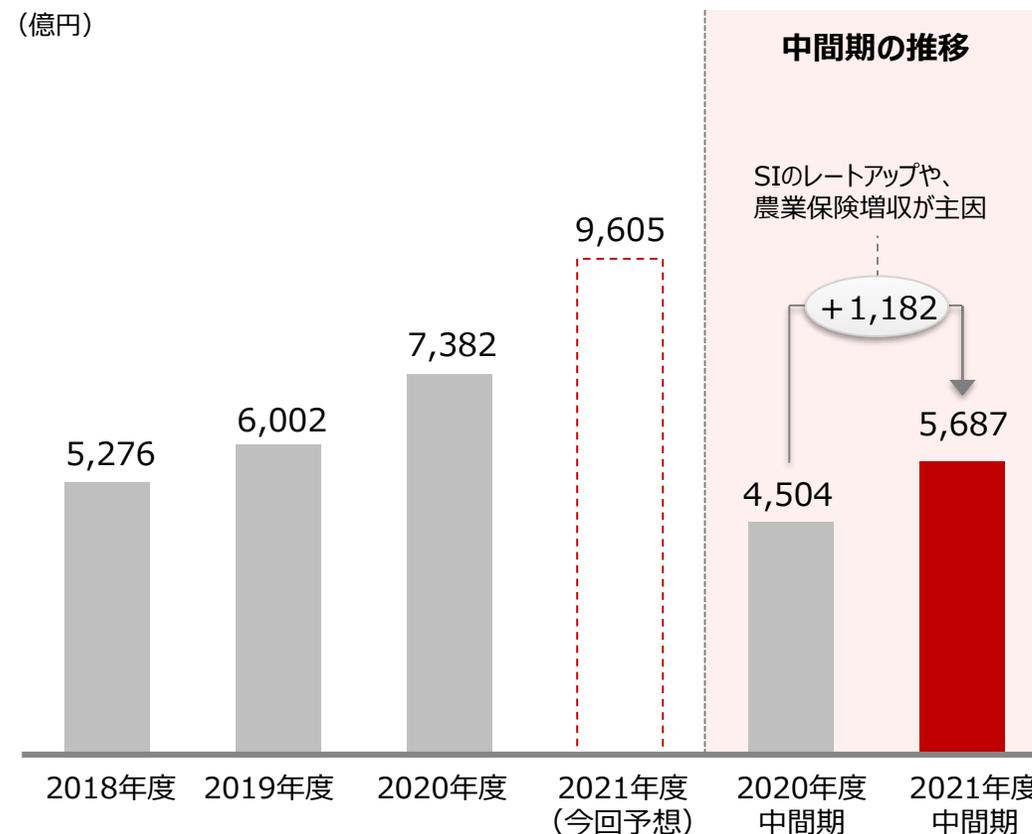
業績概況（海外保険事業）

- SIの計画を上回るレートアップやDiversified社の統合効果などを主因に、海外保険事業のトップラインは+1,182億円増収
- SIの増収効果に加え、前年度のコロナ影響の剥落や運用収益改善なども寄与し、海外保険事業の修正利益は+277億円増益

修正利益※



(参考) 収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

(参考) 地域別業績

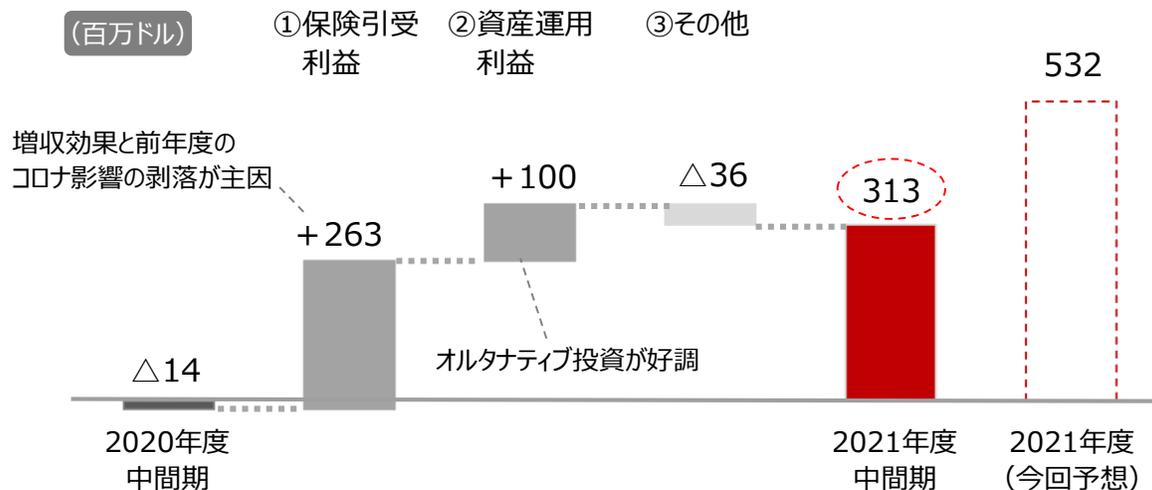
(単位：億円)		収入保険料				修正利益				2021年度中間決算のポイント	(参考) 為替レート	
		2021年度 中間期		2021年度 通期		2021年度 中間期		2021年度 通期			2021年6月※2 (対前年為替影響)	
		実績	対前年 増減	期初 予想	今回 予想	実績	対前年 増減	期初 予想	今回 予想			
欧米	SI	5,097	+1,256	7,414	8,280	346	+361	588	595	P30、P31ご参照	110.58 円/米ドル	(+2.6%)
中東	Sompoシゴルタ (トルコ)	109	△30	293	239	27	△17	42	51	トップラインは、自動車保険の厳格な引受基準堅持の影響により減収。 修正利益は、自動車保険損害率の上昇や為替影響を主因に減益。	12.65 円/リラ	(△19.7%)
アジア	ベルジャヤソンポ (マレーシア) 等	214	+11	476	447	38	+2	51	64	トップラインは概ね計画通り。 修正利益は、ベルジャヤソンポの損害率改善などを主因に順調。	-	-
南米	Sompoセグロス (ブラジル)	245	△60	499	590	△65	△58	△17	△155	トップラインは、再保険戦略見直しにより減収。 修正利益は、繰延税金資産の取崩しを主因に減益。	22.31 円/リアル	(+11.9%)
非連結※1		22	+5	65	47	3	△1	△0	6	-	-	-
合計		5,687	+1,182	8,748	9,605	351	+277	600	565	-	-	-

※1 Sompoタイランド、PGAソンポ（フィリピン）、ユナイテッドインシュアランス（ベトナム）などの合計

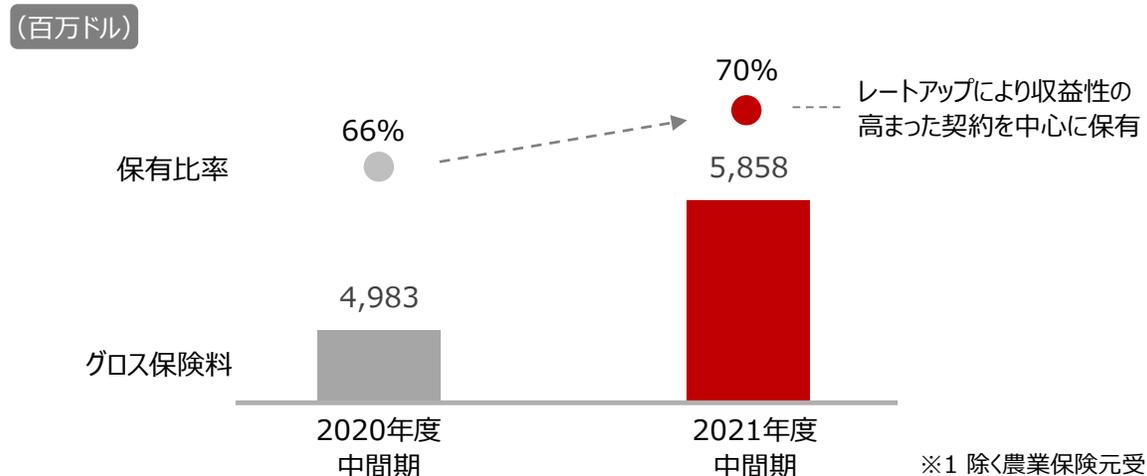
※2 通期業績予想（今回予想）における前提為替レートは2021年9月末時点を使用

(参考) SI業績概況①

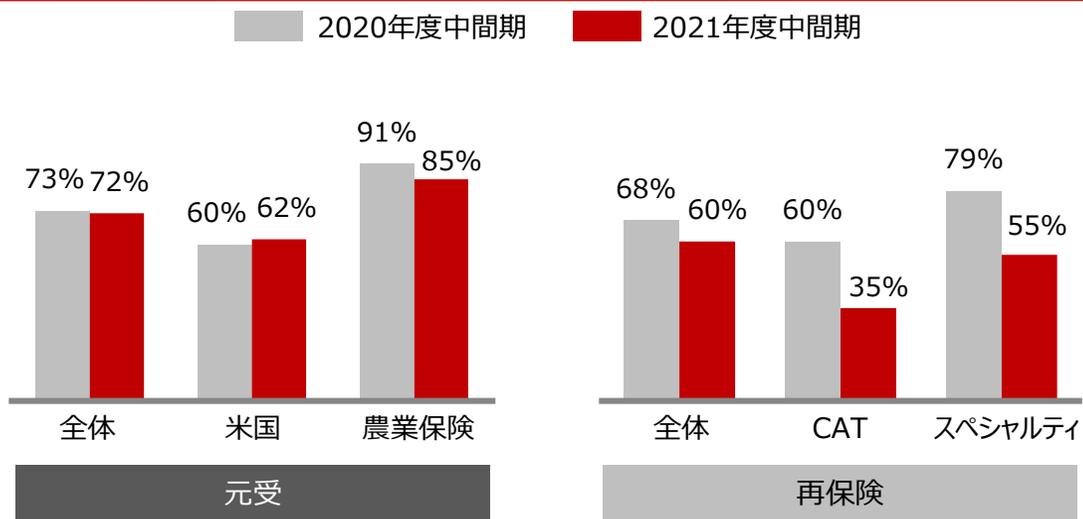
修正利益の増減要因



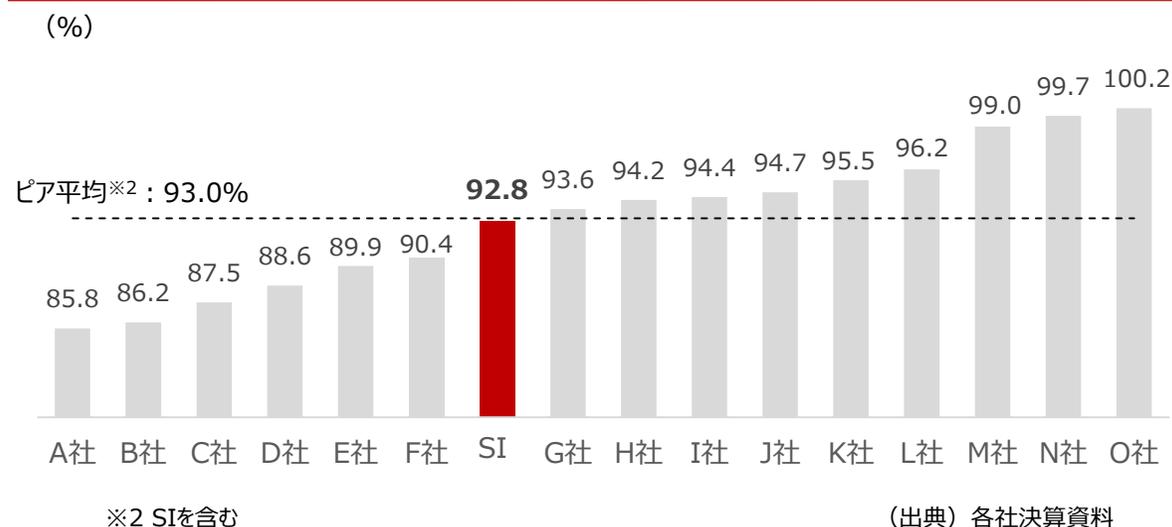
グロス保険料と保有比率※1



主要セグメント別損害率



(参考) ピア比較 (コンバインド・レシオ、2021年度中間期)



(参考) SI業績概況②

	(百万ドル)		2020年度		2021年度 中間期		2021年度		対前年増減		
	実績 (A)		実績	対前年増減	(対前年増率)	期初予想 (B)	今回予想 (C)	C-B	C-A		
グロス保険料	9,354		7,571	+1,940	(+34.5%)	10,312	11,963	+1,651	+2,608	▶ レートアップおよび農業保険の増収 (Diversified社統合効果や 作物価格上昇影響) が主因	
正味保険料	5,882		4,609	+1,044	(+29.3%)	6,696	7,398	+701	+1,516		
既経過保険料	4,642		3,147	+1,118	(+55.1%)	6,315	6,857	+541	+2,215		
発生保険金	3,326		2,076	+640	(+44.6%)	4,102	4,691	+588	+1,364		
事業費	1,212		842	+263	(+45.4%)	1,686	1,753	+66	+540		
損害率※1	71.7%		66.0%	△4.8pt	-	65.0%	68.4%	+3.5pt	△3.2%	▶ 自然災害影響が主因	
事業费率※1	26.1%		26.8%	△1.8pt	-	26.7%	25.6%	△1.1pt	△0.6%		
コンバインド・レシオ※1	97.8%		92.8%	△6.6pt	-	91.7%	94.0%	+2.3pt	△3.8%		
保険引受利益	58		234	+263	-	518	416	△102	+357		
資産運用利益	245		178	+100	(+128.7%)	249	320	+70	+74	▶ 好調なオルタナティブ投資が主因	
その他損益	43		△106	△96	-	△123	△176	△53	△219	▶ 有価証券未実現損(連結消去) が主因	
当期純利益	285		267	+259	(+3,207.3%)	531	469	△62	+183		
為替損益	+32		△24	△43	-	-	△41	△41	△73		
有価証券売却・減損損失等※2	△154		+81	+130	-	-	+121	+121	+276		
税効果	+18		△11	△18	-	-	△17	△17	△35		
修正利益	182		313	+327	-	531	532	+0	+350		

※1 損害率、事業费率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 未実現損益を含む

(参考) 農業保険既経過保険料の認識タイミング(季節性イメージ)

1Q: 10~15% 2Q: 25~30% 3Q: 30~35% 4Q: 25~30%

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

業績概況（ひまわり生命）

- 保障性商品の保有契約増加等により、修正利益は+4億円増益の185億円
- Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は順調に拡大

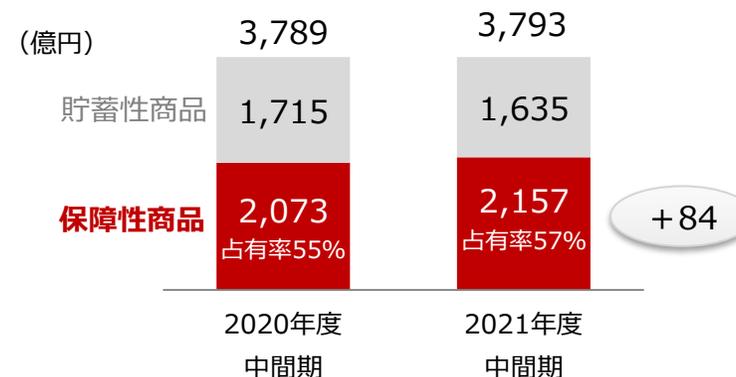
主要業績

(単位：億円)	2020年度 中間期	2021年度 中間期	増減		2021年度 (今回予想)
新契約年換算保険料	113	131	+18	(+16.1%)	401
保険料等収入※1	2,153	2,140	△12	(△0.6%)	4,442
責任準備金繰入等※2	1,413	1,366	△46	(△3.3%)	2,867
保険金等支払	353	378	+25	(+7.1%)	785
事業費	407	447	+40	(+9.8%)	1,010
資産運用損益	242	245	+2	(+0.8%)	524
（うち一般勘定）	230	236	+5	(+2.5%)	475
基礎利益	192	174	△18	(△9.6%)	214
経常利益※1	187	163	△24	(△12.8%)	201
当期純利益	119	100	△18	(△15.6%)	116
修正利益	180	185	+4	(+2.6%)	325

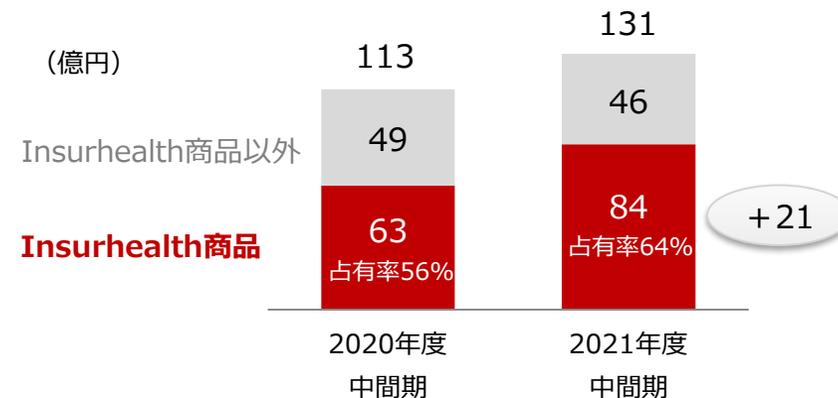
※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

（参考）保有契約年換算保険料の構成



（参考）新契約年換算保険料の構成

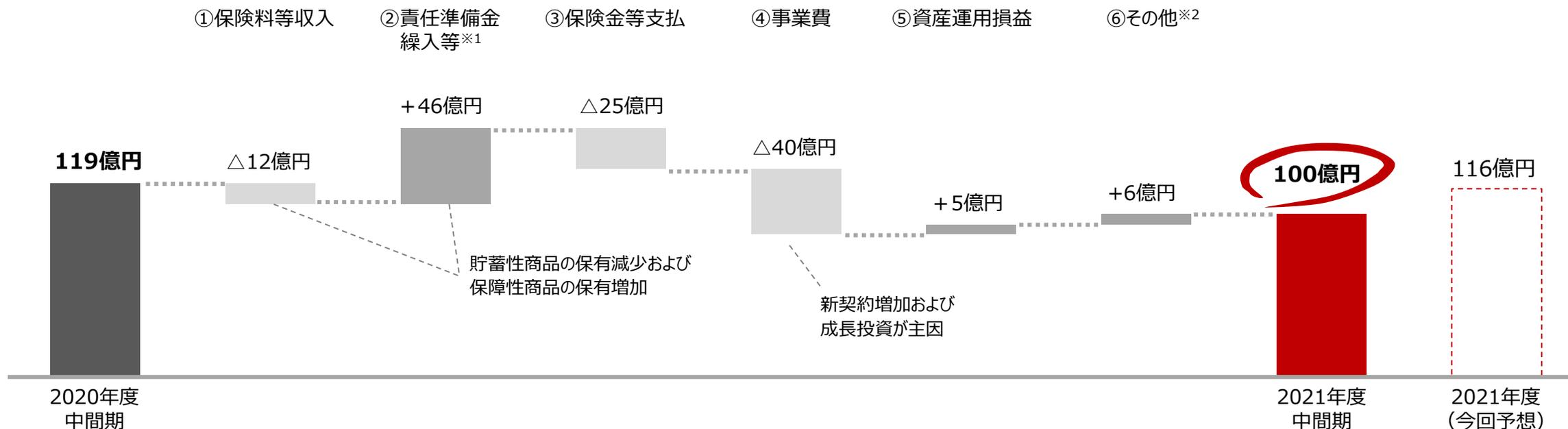


○：2020年度中間期対比の増減額

当期純利益（ひまわり生命）

- 当期純利益は、保障性商品の保有契約増加の一方で、事業費の増加により、△18億円減益の100億円

当期純利益の増減要因



	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益(一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2020年度中間期	2,153億円	△1,413億円	△353億円	△407億円	230億円	△89億円	119億円
2021年度中間期	2,140億円	△1,366億円	△378億円	△447億円	236億円	△82億円	100億円
2021年度(今回予想)	4,442億円	△2,867億円	△785億円	△1,010億円	475億円	△136億円	116億円

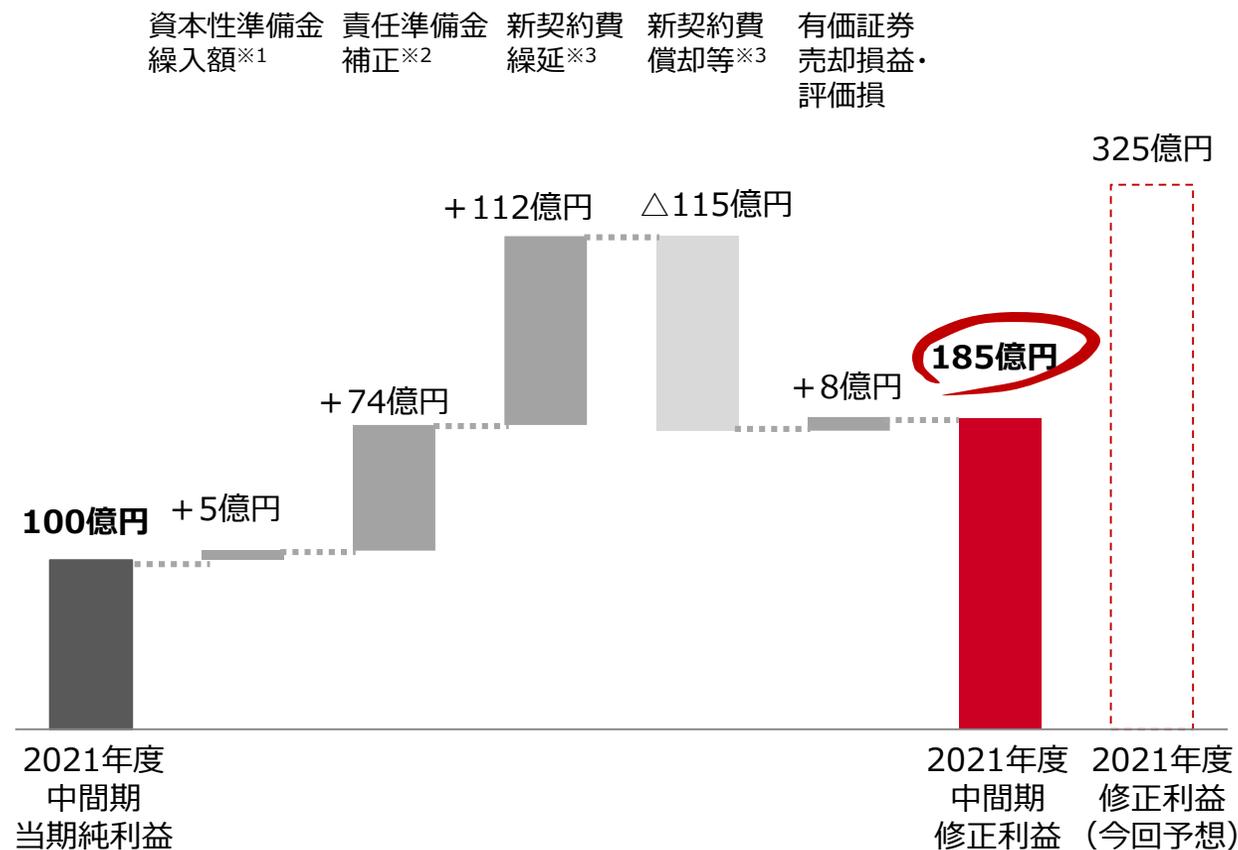
※1 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

※2 その他の経常損益、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

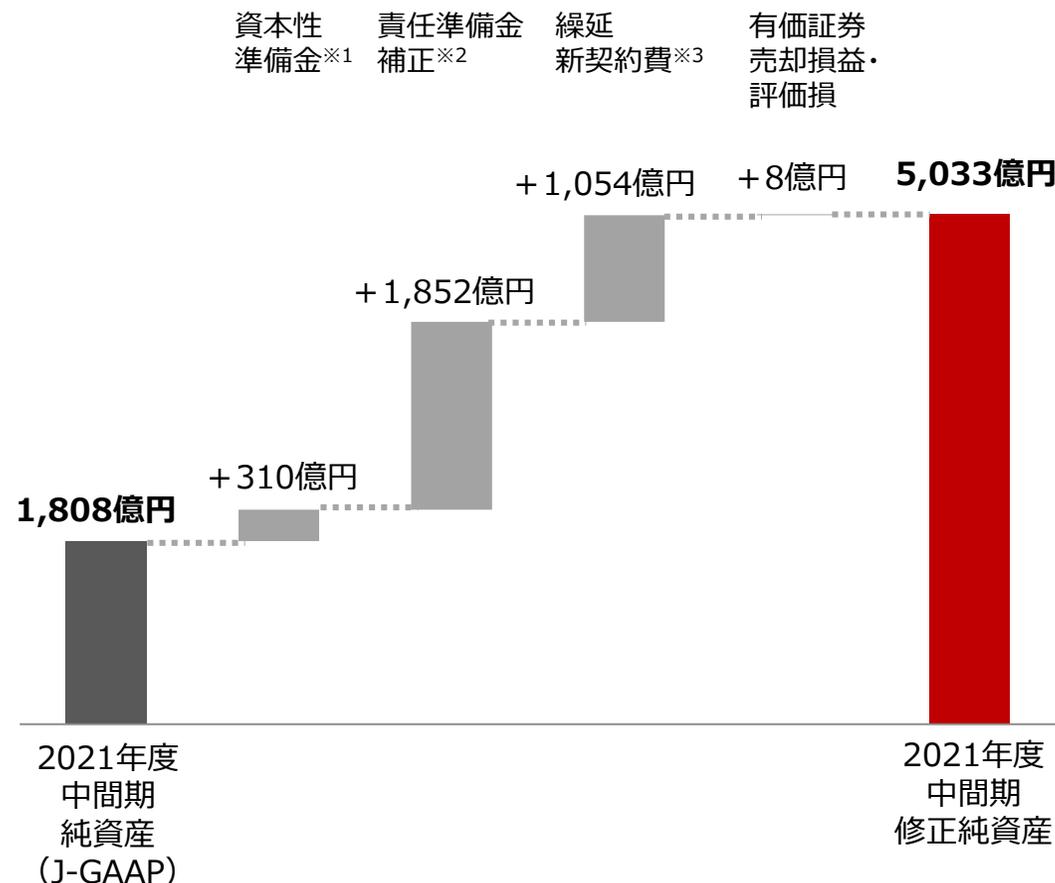
修正利益・修正純資産（ひまわり生命）

- 修正利益は185億円となり、通期業績予想（今回予想）325億円に対する進捗率は57%

当期純利益から修正利益へのコンバージョン



(参考) 修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金（税引後）
 ※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算（税引後）
 ※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却（税引後）

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

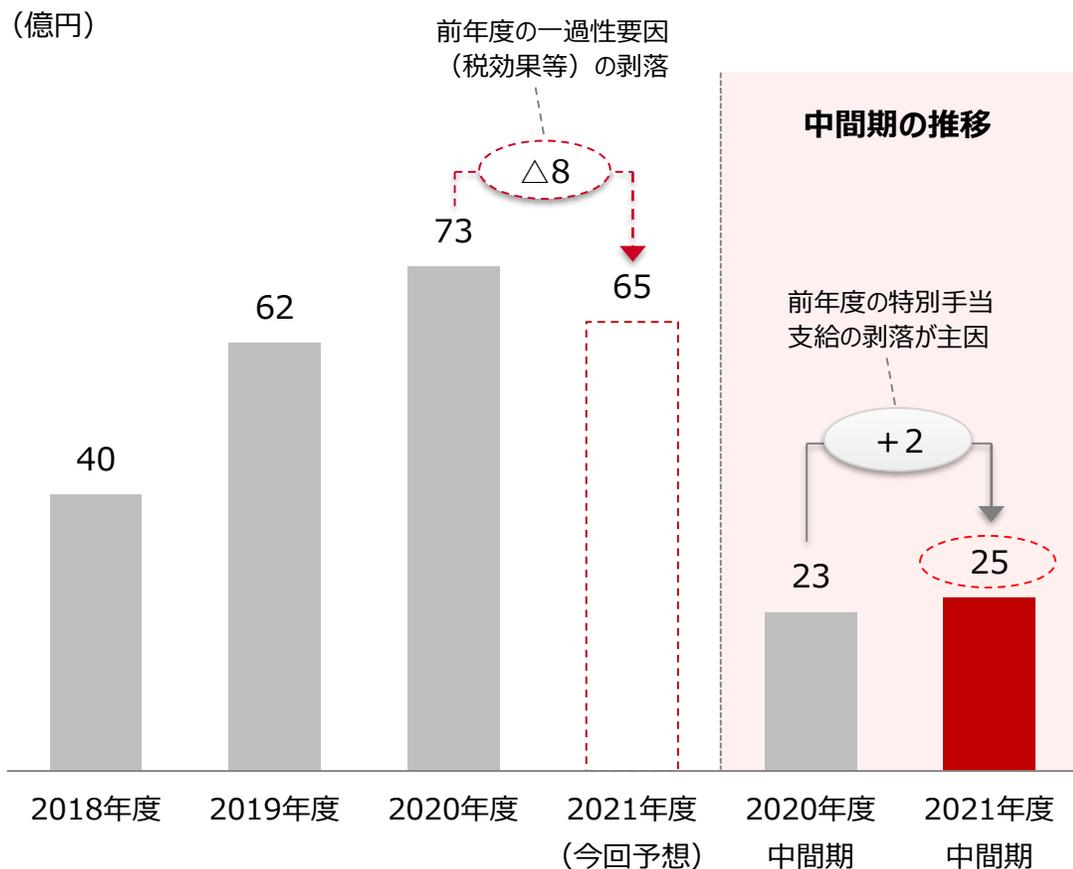
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

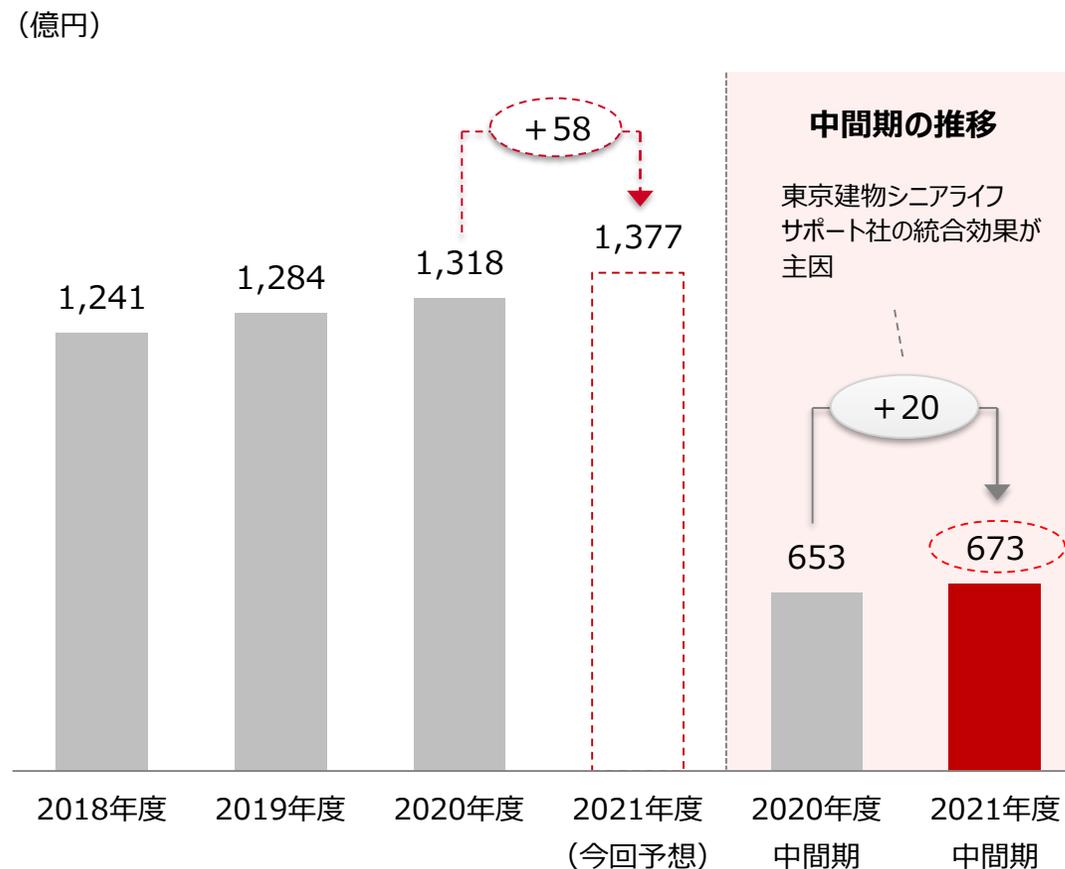
業績概況（介護・シニア事業）

- SOMPOケアの修正利益は、前年度の特別手当支給の剥落などにより+2億円増益

SOMPOケアの修正利益

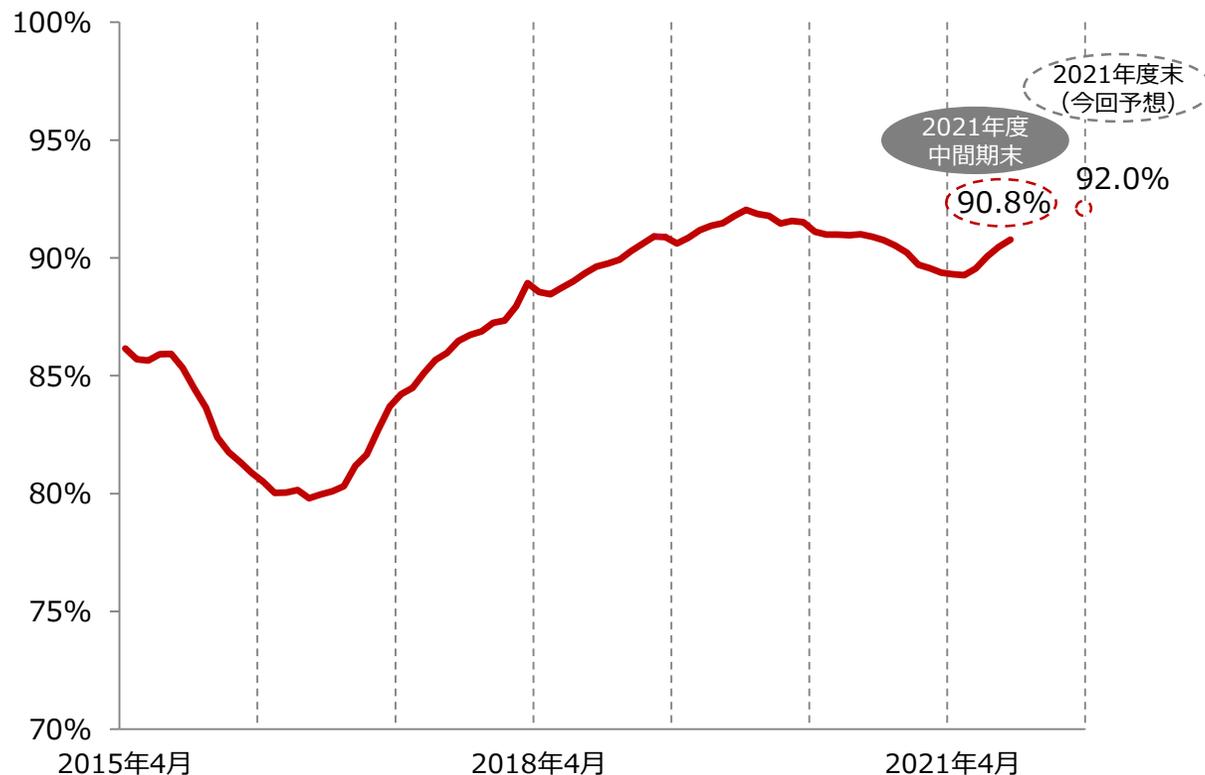


SOMPOケアの売上高



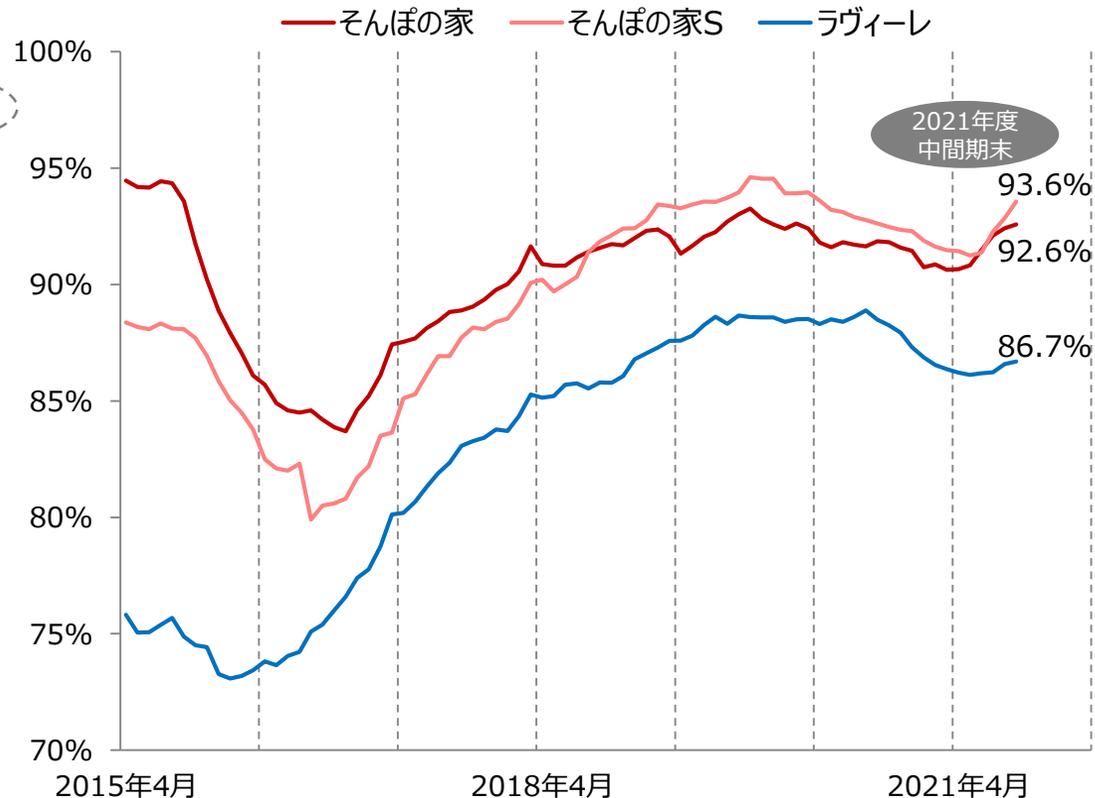
SOMPOケアの主要指標

入居率^{※1※2}の推移



※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数
 ※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

(参考) ブランド別入居率^{※3}の推移



※3 そんぽの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、
 そんぽの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

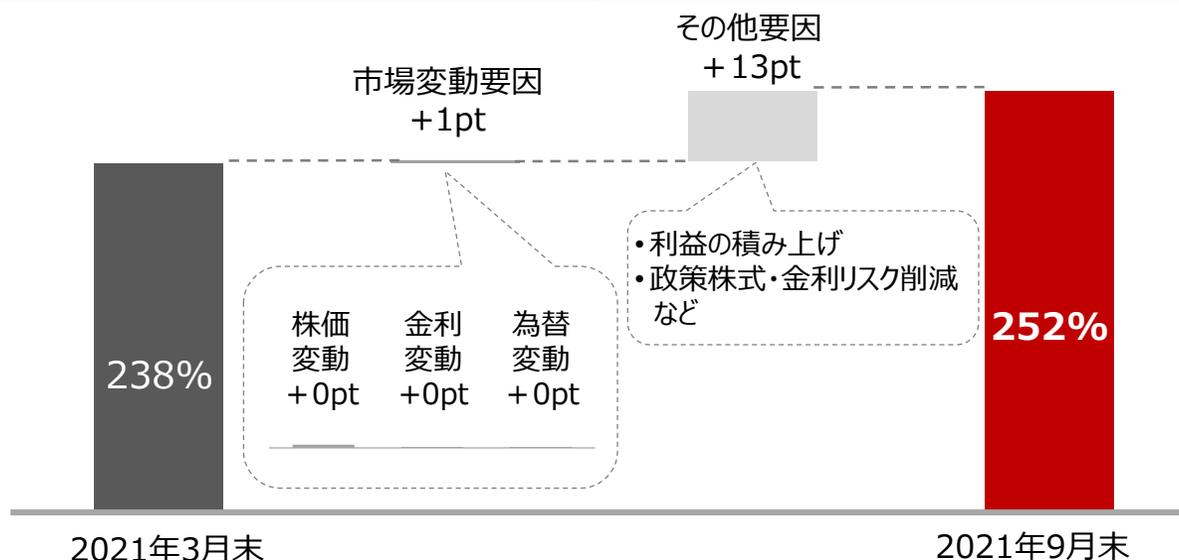
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

財務健全性：ESR（99.5%VaR）

- 2021年9月末のESR（99.5%VaR）は252%と、ターゲットレンジ内の資本水準を維持

ESR（99.5%VaR）※1の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR（99.5%VaR）におけるターゲット資本水準は、200%～270%

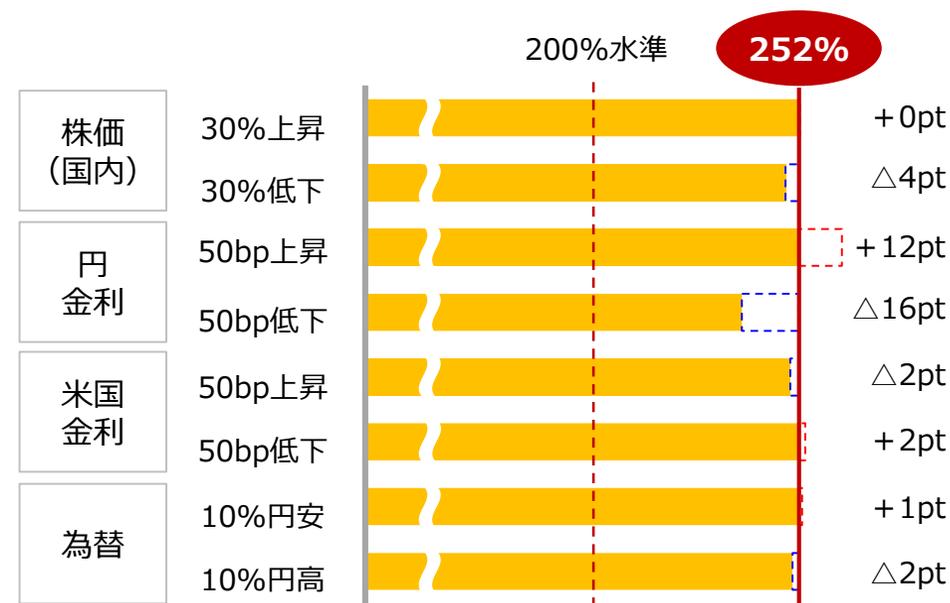
270%水準：資本効率（修正連結ROE）の観点を踏まえた水準

200%水準：ストレステストの結果などを踏まえ、財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【270%超】 追加的リスクテイク（成長投資）の検討、積極的な株主還元の見直しなど
- 【200%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

ESR（99.5%VaR）の感応度分析

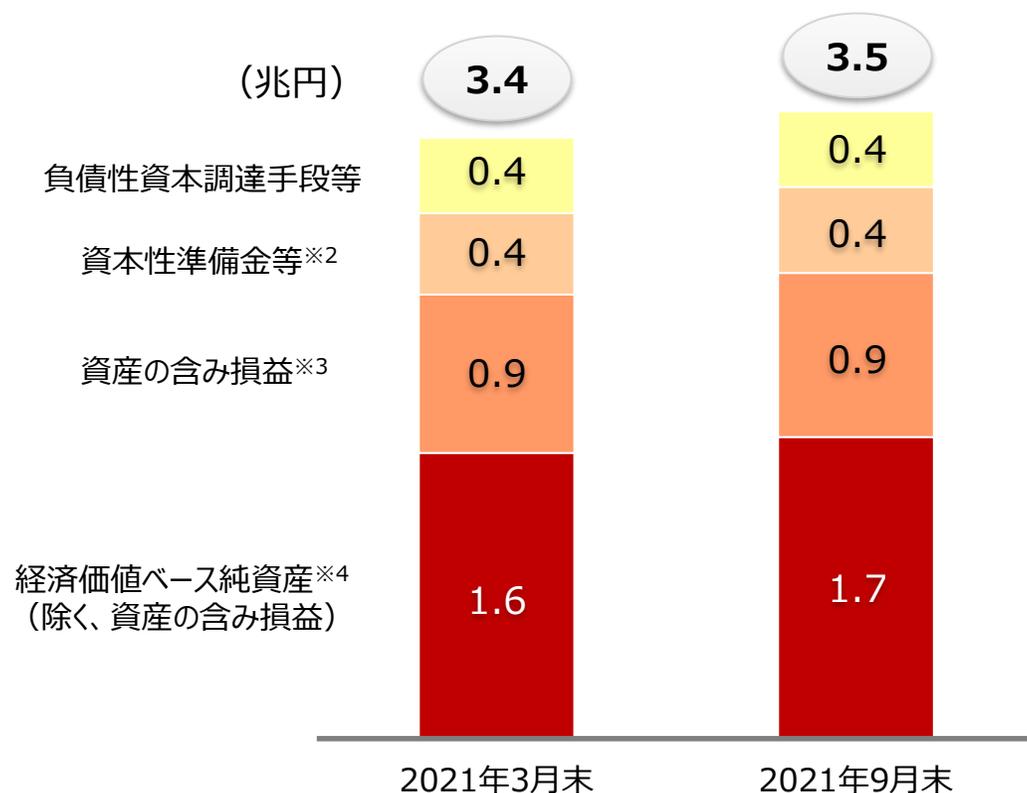


(参考) 市場環境	2021年9月末	(増減※2)
国内株価（日経平均株価）	29,452円	(+0.9%)
国内金利（30年物国債利回り）	0.68%	(+1bp)
米国金利	1.49%	(△25bp)
為替（米ドル円レート）	111.92円	(+1.1%)

※2 2021年3月末対比

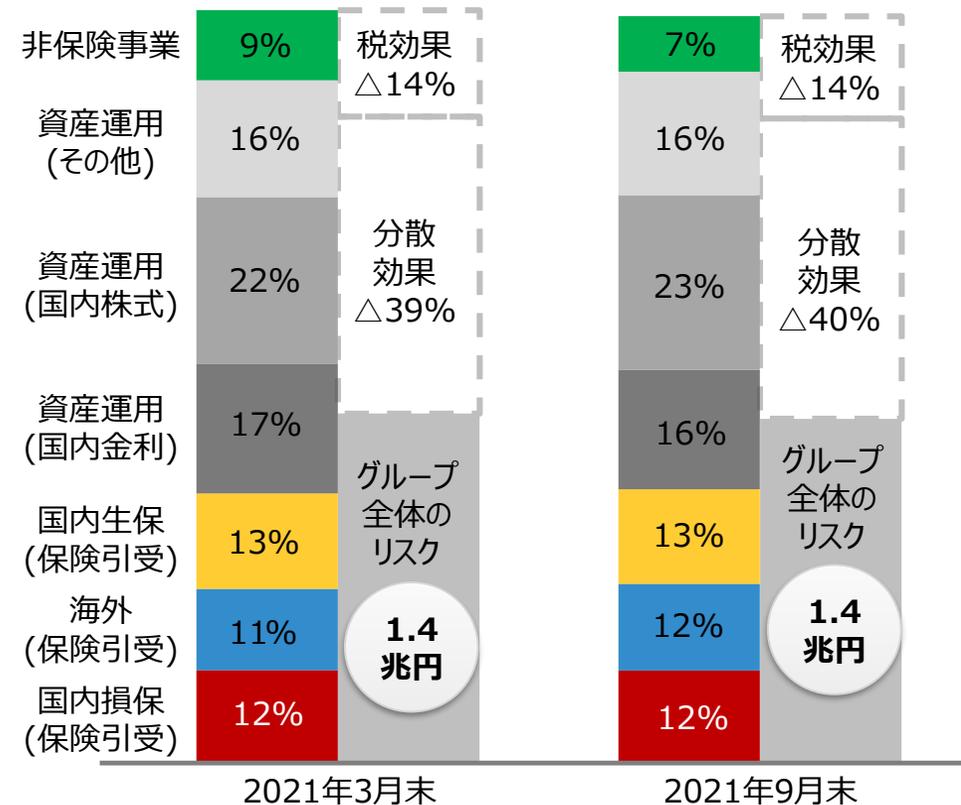
(参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1



- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

リスク量※5

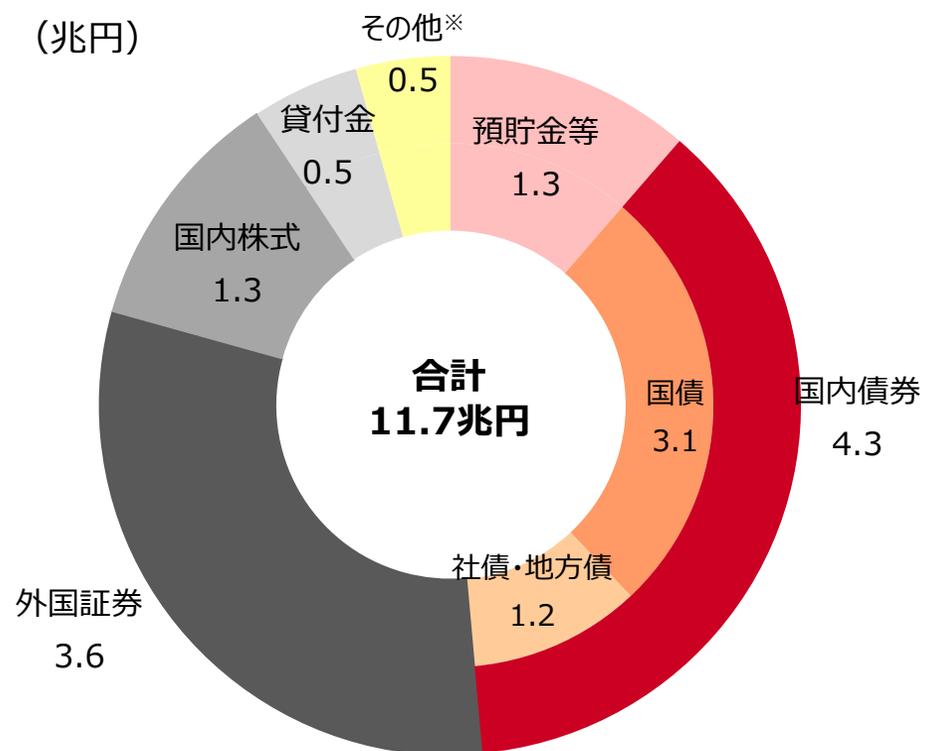


- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）

- 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額（2021年9月末、グループ連結ベース）



※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

グループ会社別運用資産額

(単位：億円)

	運用資産額	構成比
損保ジャパン	56,361	47.9%
海外グループ会社	18,133	15.4%
ひまわり生命（一般勘定）	37,891	32.2%
セゾン自動車火災	663	0.6%
国内その他	4,603	3.9%
合計	117,653	100%

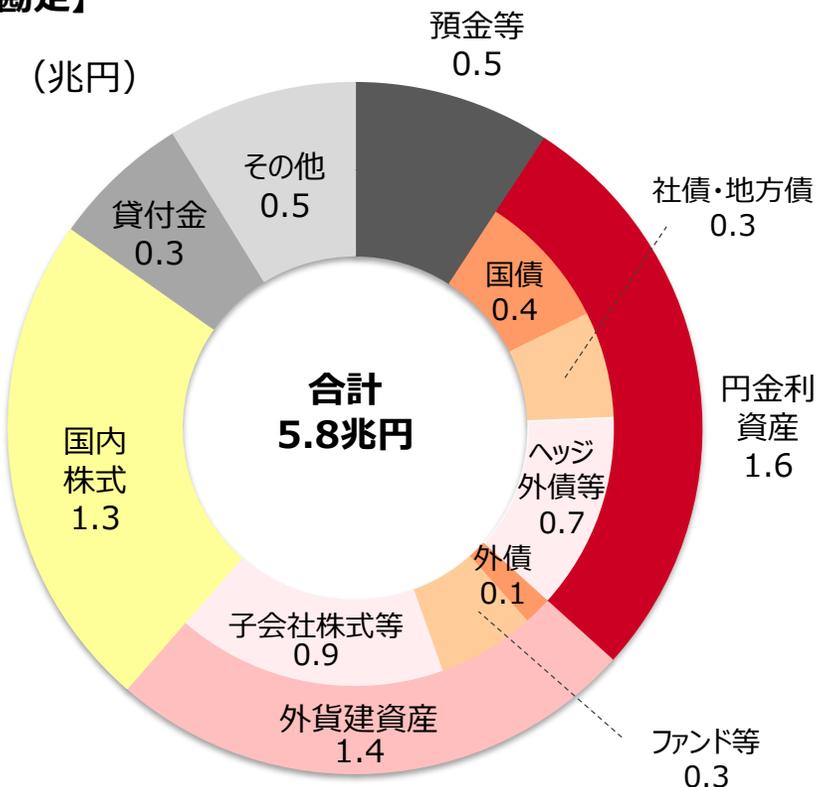
資産ポートフォリオ（損保ジャパン）



- 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオ・マネジメントを継続

運用資産額（2021年9月末、損保ジャパン単体ベース）

【一般勘定】



インカム利回り（一般勘定）※1の推移



格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

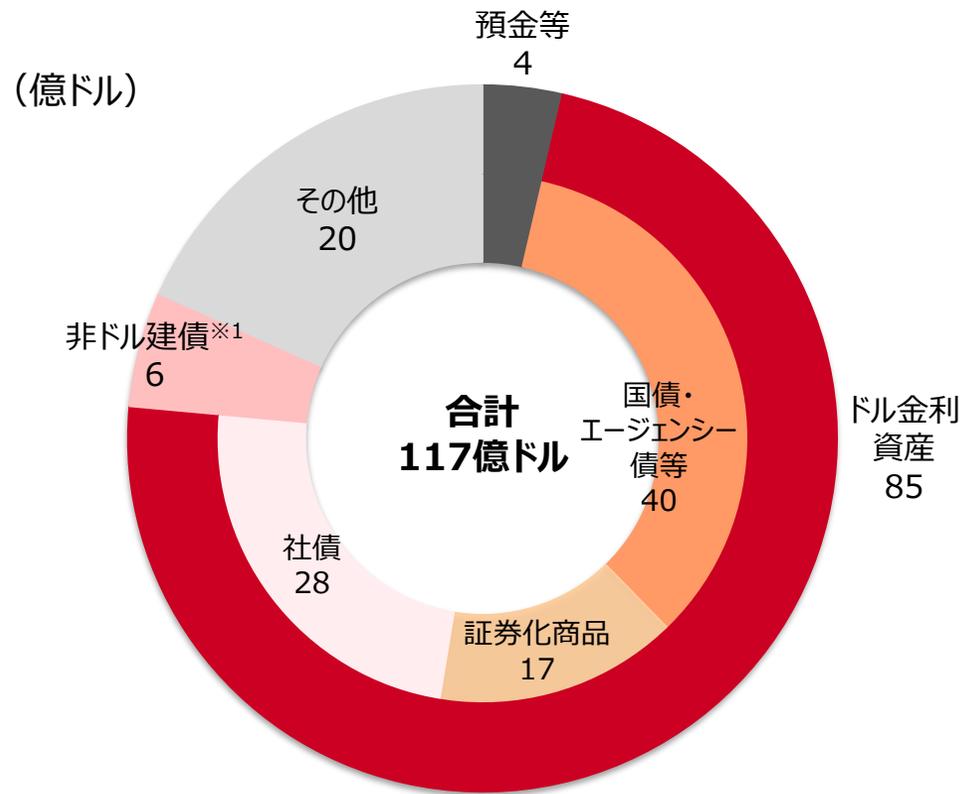
デュレーション（年）

	2021年3月末	2021年9月末
資産	8.2	8.0
負債	8.3	8.0

※1 海外グループ会社株式等を除く
 ※2 円金利資産、外貨建債券の合計

- ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

運用資産額 (2021年6月末、SI連結ベース)



格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	90%
BB格以下	10%

デュレーション (年)

	2020年 12月末	2021年 6月末
資産	2.9	3.1
負債	3.4	3.1

(参考) 2021年6月末のインカム利回り (一部ファンドの未実現損益等の変動を含む) は3.3%

※1 一部預金含む

※2 債券資産の合計

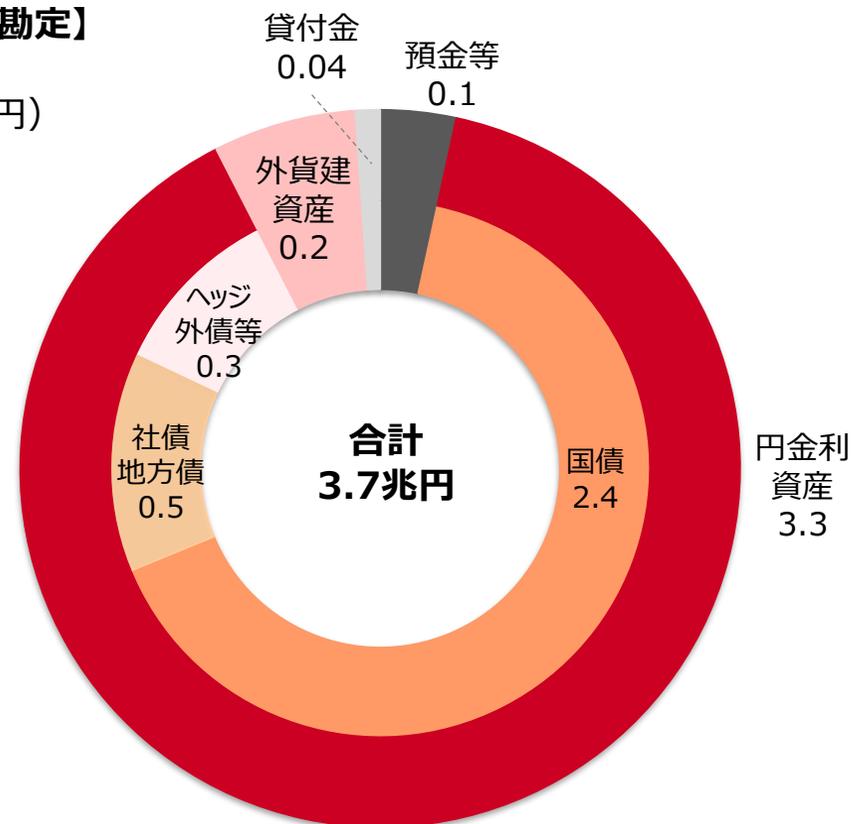
資産ポートフォリオ（ひまわり生命）

- 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等へも配分

運用資産額（2021年9月末、ひまわり生命単体ベース）

【一般勘定】

(兆円)



(参考) 2021年9月末の特別勘定の残高：251億円（主に国内株式・債券で運用）

インカム利回り（一般勘定）の推移



格付別構成比※

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デュレーション（年）

	2021年3月末	2021年9月末
資産	15	16
負債	26	26

※ 円金利資産、外貨建債券の合計

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

I R室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>